

事務事業評価報告書

令和7年1月

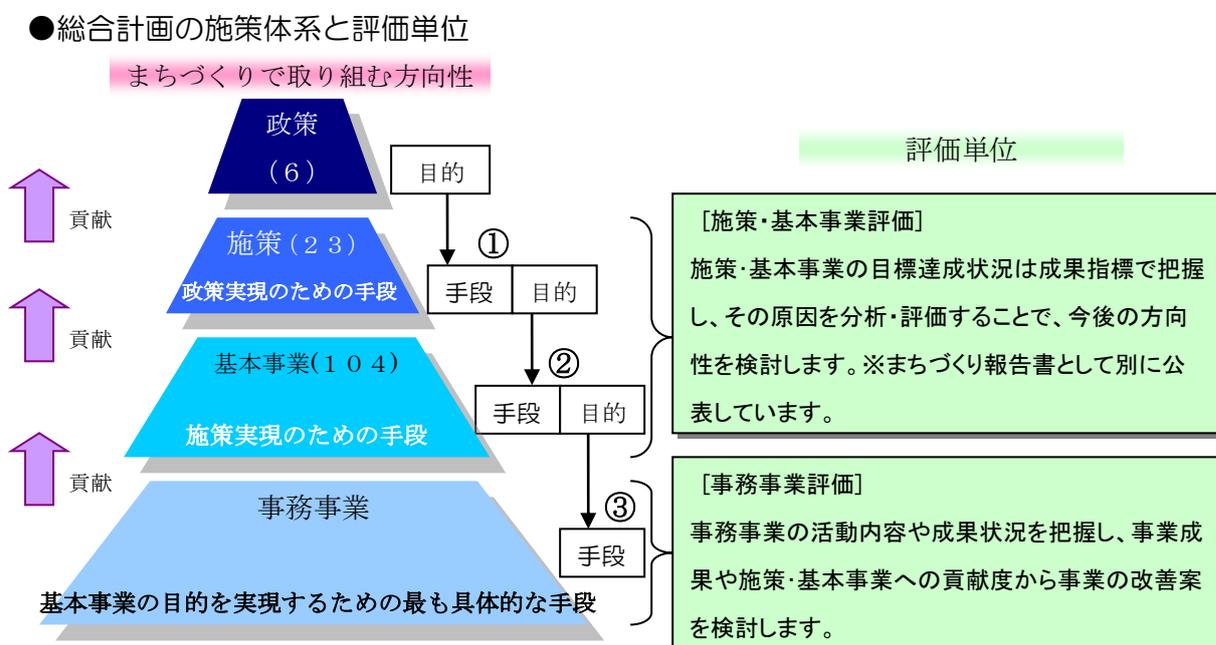
山武市

1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1) 施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として23の「施策」を設定し、さらに施策を104の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進するものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前提としています。



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

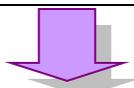
このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならない、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2) 事務事業評価の組織決定について

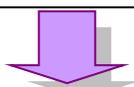
① 事業課の評価(1次評価)

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



② 全庁視点での評価(2次評価)

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局(総務課・財政課・企画政策課の合同組織)と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③ 評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3) 事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、令和5年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計 131 事業について公開します。

具体的には、「実施計画 2023」、「令和5年度決算における主な事業」及び「行政改革関連事業」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

令和5年度の事務事業評価結果

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 地域核をネットワークする都市整備の推進					
1 道路・橋りょうの整備・維持管理					
			作田川関連市道整備事業	土木課	8
			成東259号線道路改良事業	土木課	9
			上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	10
			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	11
			橋梁長寿命化修繕事業	土木課	12
			松尾駅周辺排水対策事業	土木課	13
3 駅周辺の利便性の向上					
			成東駅南口線整備促進事業	都市整備課	14
			成東駅北側道路整備事業	都市整備課	15
4 公園の再整備と適正な管理					
			さんぶの森公園グリーンタワー外壁等改修事業	運動公園管理事務所	16
5 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用					
			地籍調査事業	土木課	17
			空家等対策事業	都市整備課	18
			立地適正化計画策定事業	都市整備課	19
2 持続可能な公共交通網の整備の推進					
1 市内における交通手段の確保					
			身近な公共交通確保事業	企画政策課	20
2 バスでの成田空港方面へのアクセス向上					
			空港シャトルバス利用促進事業	空港地域振興課	21
3 災害に強い強靱なまちづくりの推進					
2 地域防災力の向上					
			自主防災組織育成事業	消防防災課	22
3 災害対応力の向上					
			防災行政無線整備事業	消防防災課	23
4 強靱化対策の推進					
			宅地耐震化推進事業	都市整備課	24
5 消防力の充実					
			消防ポンプ車等整備事業	消防防災課	25
			消防団運営事業	消防防災課	26
2 住みやすい環境と安全なまちづくり					
1 生活環境の充実					
3 航空機騒音等の対策					
			共同利用施設等施設改修事業	空港地域振興課	27
			航空機騒音対策空調機器設置事業	空港地域振興課	28
2 脱炭素・循環型社会の形成					
1 地域脱炭素化の推進					
			地球温暖化防止対策事業	環境保全課	29
			省エネルギー等対策事業	環境保全課	30
2 3Rの推進とごみ処理の適正化					
			ごみ収集事業	環境保全課	31

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			3 汚水処理の推進		
			浄化槽設置支援事業	環境保全課	32
			4 防犯・交通安全の推進		
			3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理		
			防犯灯維持管理事業	市民自治支援課	33
			4 消費者トラブルの防止		
			消費生活相談事業	商工観光課	34
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり					
			1 農林水産業の振興		
			1 経営の安定化の推進		
			経営所得安定対策推進事業	農政課	35
			2 担い手の育成・支援		
			認定農業者育成事業	農政課	36
			地域農業経営支援事業	農政課	37
			4 農業基盤整備の推進		
			農業水路等長寿命化・防災減災事業	農政課	38
			ほ場整備事業	農政課	39
			5 森林再生の推進		
			サンプスギ林再生・資源循環促進事業	農政課	40
			自治体連携森林整備事業	農政課	41
			99 施策の総合推進		
			農業委員会運営事業	農業委員会事務局	42
			2 商工業の振興と地域経済活性化		
			1 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進		
			エコノミックガーデニング推進事業	商工観光課	43
			商店等魅力発信事業	商工観光課	44
			地域応援クーポン券事業	商工観光課	45
			地域経済活性化支援事業	商工観光課	46
			2 工業の振興		
			企業誘致促進事業	企画政策課	47
			3 成田空港経済圏の形成		
			UIターンによる起業・就業者等創出事業	企画政策課	48
			3 観光の振興		
			1 魅力ある観光事業の推進		
			サマーカーニバル実行委員会補助事業	商工観光課	49
			2 海岸を活用した観光推進		
			海岸施設維持管理事業	商工観光課	50
			美しい海水浴場次世代継承事業	商工観光課	51
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
			1 高齢者福祉の充実		
			1 生きがいづくりと介護予防の推進		
			介護予防サービス計画作成委託事業	高齢者支援課	52
			2 暮らしを支えるサービスの充実		
			緊急通報ネットワーク事業	高齢者支援課	53
			2 障がい者(児)福祉の充実		
			1 自立支援サービスの促進		
			障害者自立支援事業	社会福祉課	54

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			3 発達が気になる子への支援		
			障害児通所等支援事業	社会福祉課	55
			3 健康づくりの推進		
			2 健診の受診率向上と生活習慣の改善		
			がん検診事業	健康支援課	56
			5 感染症等対策の推進		
			新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康支援課	57
			6 医療体制の充実		
			地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業	健康支援課	58
			医療機関価格高騰対策支援給付金支給事業	健康支援課	59
			医療機関食材料費高騰対策支援給付金支給事業	健康支援課	60
			7 健康保険制度の安定的な運営		
			後期高齢者重症化予防等事業	高齢者支援課	61
			4 子育ての支援		
			1 幼保機能の充実		
			幼稚園施設整備事業	子育て支援課	62
			こども園施設整備事業	子育て支援課	63
			保育所価格高騰重点支援給付金支給事業	子育て支援課	64
			3 子育て不安の軽減		
			子育て世代包括支援センター等事業	健康支援課	65
			4 子育て家庭への援助		
			子ども医療費助成事業	子育て支援課	66
			高校生等医療費助成事業	子育て支援課	67
			子育て世帯応援給付金支給事業	子育て支援課	68
			子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	子育て支援課	69
			子どもの成長応援臨時給付金支給事業	子育て支援課	70
			子育て世帯生活応援特別給付金支給事業	子育て支援課	71
			6 次世代育成に係る家族形成の支援		
			三世帯同居等支援事業	企画政策課	72
			結婚応援事業	企画政策課	73
			99 施策の総合推進		
			子ども・子育て支援事業計画推進事業	子育て支援課	74
			5 地域福祉の充実とセーフティーネットの推進		
			3 生活困窮者自立支援の充実		
			生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	75
			価格高騰緊急支援給付金給付事業	社会福祉課	76
			物価高騰支援給付金給付事業	社会福祉課	77
			物価高騰支援給付金(均等割のみ・こども加算)給付事業	社会福祉課	78
			4 生活保護制度の適正な実施		
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	79
			5 生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり		
			1 学校教育の充実		
			1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進		
			小学校用備品整備事業(振興)	子ども教育課	80
			外国人英会話授業支援事業	子ども教育課	81
			英語教育推進事業	子ども教育課	82
			学力向上支援事業	子ども教育課	83

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			4 ICT教育の実践		
			ICTサポート事業	子ども教育課	84
			5 教育環境の整備		
			通学バス運行事業	教育総務課	85
			小学校施設改修事業	施設整備課	86
			成東学校給食センター施設管理運営事業	学校給食センター	87
			学校給食センター施設整備事業	学校給食センター	88
			6 地域と学校の協力体制の推進		
			地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業	子ども教育課	89
			2 生涯学習の推進		
			2 生涯学習施設の利用促進		
			成東文化会館施設管理事業	文化会館	90
			成東中央公民館施設管理運営事業	公民館	91
			松尾公民館施設管理事業	公民館	92
			成東中央公民館施設改修事業	公民館	93
			松尾図書館施設管理事業	図書館	94
			さんぶの森公園ふれあいセンター施設改修事業	運動公園管理事務所	95
			3 文化財の保護・活用		
			歴史民俗資料館管理運営事業	歴史民俗資料館	96
			食虫植物群落保護管理事業	歴史民俗資料館	97
			5 青少年の育成		
			少年海外派遣支援事業	生涯学習課	98
			3 スポーツの振興		
			1 スポーツ活動の充実		
			スポーツ協会補助事業	スポーツ振興課	99
			3 体育施設の利用促進		
			蓮沼スポーツプラザ施設改修事業	運動公園管理事務所	100
			成東総合運動公園施設改修事業	運動公園管理事務所	101
			4 人権尊重のまちづくり		
			1 人権教育・人権啓発の推進		
			子ども人権(CAP)事業	子ども教育課	102
			2 人権擁護の推進		
			人権相談事業	市民自治支援課	103
			6 市民と行政が協働してつくるまちづくり		
			1 協働と交流によるまちづくり		
			2 市民活動の活性化		
			地域まちづくり事業	市民自治支援課	104
			3 協働のまちづくり推進の仕組みづくり		
			SDGs宣言制度導入事業	企画政策課	105
			2 開かれた市政とまちの魅力発信		
			1 広報の充実		
			広報さんむ作成・発行事業	秘書広報課	106
			ホームページ運営事業	秘書広報課	107
			3 市の魅力発信の強化		
			ふるさと納税推進事業	企画政策課	108
			さんむの魅力発信事業	秘書広報課	109

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
			4 議会情報の公開の推進		
			議会改革推進事業	議会事務局	110
		99 施策の総合推進			
			議員研修事業	議会事務局	111
			3 計画的・効率的な行財政運営		
			1 行政経営の推進		
			行政評価制度推進事業	企画政策課	112
			2 人材育成と効率的な組織運営		
			職員研修事業	総務課	113
			人事評価事業	総務課	114
			組織体制見直し事業	総務課	115
			定員適正化推進事業	総務課	116
			ワークライフバランス推進事業	総務課	117
			3 健全な財政運営		
			指定管理者指定事業	企画政策課	118
			予算管理事業	財政課	119
			基金管理事業	財政課	120
			4 税収の確保		
			滞納整理事務事業	収税課	121
			市税等徴収事務事業	収税課	122
			5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進		
			本庁舎整備事業	財政課	123
			庁用車適正配置事業	財政課	124
			公共施設マネジメント事業	財政課	125
			さんぶの森交流センターあらかぎ館施設管理事業	山武出張所	126
			蓮沼出張所管理運営事業	蓮沼出張所	127
			6 自治体DXの推進と市民サービスの向上		
			電子自治体構築事業	総務課	128
		99 施策の総合推進			
			例規・法制支援事業	総務課	129
			4 公正確実な事務の執行		
			1 適正な会計処理		
			出納係事務費	会計課	130
			3 監査の充実		
			監査委員活動費	監査委員事務局	131
			5 適正な戸籍・住民基本台帳事務管理		
			戸籍事務費	市民課	132
			窓口サービス向上事業	市民課	133
			山武出張所事務費	山武出張所	134
			蓮沼出張所事務費	蓮沼出張所	135
			松尾出張所事務費	松尾出張所	136
			6 公平・公正な課税		
			個人住民税賦課事業	課税課	137
			固定資産税賦課事業	課税課	138

事務事業名 作田川関連市道整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 15 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 619

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

県河川改修事業で設置する管理用道路（幅員3m）の設置にあたり、市が隣接地（2m～4m）の用地確保を行うことにより県が管理用道路を兼ねた市道整備を行います。
現在河川に架設されている橋梁の架替えに伴う工事及び市道整備に関する負担金を県に納入します。
事業費 620,000千円（県への負担金）80,000千円（用地買収費）合計700,000千円
架替え対象橋梁数 8箇所、市道整備延長 5.28Km
市道整備箇所 山武市成東地先（加持橋）～山武市森地先（日向橋）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
用地交渉回数	回	3	4	20
成果状況				
用地取得済面積	m ²	6,734.2	7,013.2	7,100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	1,873	0	0	0	0	1,873	
06年度 当初	17,178	0	0	16,200	0	978	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
用地交渉を継続して行っているが取得出来ず、市道整備事業が遅延しています。
<原因>
千葉県主体の作田川改修事業であり、用地取得の条件が整わず、交渉が難航しているのが原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km		1.65	
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		4	

事務事業名 成東259号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成25年度～令和06年度		事務事業整理番号 1762

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
 整備内容 延長1.2Km 幅員12.5m
 総事業費 600,000千円
 平成25年度 交差点部詳細設計
 平成26年度 用地測量、設計、関係機関協議
 平成27年度 用地買収
 平成28年度 用地買収、工事
 平成29年度 用地買収、工事
 令和元年度 用地買収、工事
 令和2年度 用地買収、工事
 令和3年度 用地買収、工事
 令和4年度 用地買収、工事
 令和5年度 用地買収、工事
 令和6年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年度当たりの市道成東259号線道路改良延長	m	0	0	0
年度当たりの道路用地買収面積	m ²	0	0	0
成果状況				
市道成東259号線道路改良済延長	m	800	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	17,911	640	0	16,400	0	871	34,000
05年度 実績	1,750	0	0	700	0	1,050	18,308
06年度 当初							(30,000)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 道路改良延長は、0mです。令和4年度からの繰越工事(暫定交差点改良工事)を実施しました。
 <原因>
 令和5年度も引続き交差点改良工事を実施しましたが、令和6年度に繰越をしているため、改良延長はありません。
 用地買収について、事業費の計上はありませんが、引続き交渉を行ってまいります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km		1.65	
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		4	

事務事業名 上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1796

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と防災拠点である成東総合運動公園へのアクセス道路を整備します。
 整備内容 延長=1.8km 幅員=10.5m
 総事業費 359,000千円
 平成26年度 用地測量、設計
 平成27年度 設計、関係機関協議
 平成28年度 工事発注
 平成29年度 用地買収、文化財調査、工事
 平成30年度 用地買収、工事
 令和元年度 用地買収、工事 令和2年度 用地買収、工事
 令和3年度 用地買収、工事 令和4、5年度 工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年度当たりの道路改良延長	m	540	400	0
関係機関との協議回数	回	3	2	0
成果状況				
市道改良済み延長	m	1,400	1,800	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	28,807	9,500	0	8,500	5,797	5,010	33,644
05年度 実績	20,251	3,737	0	3,300	0	13,214	41,411
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市道改良延長は1800mです。
 <原因>
東日本大震災後に木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と、防災拠点がある成東総合運動公園へのアクセス道路(全体延長5000m区間のうち約1800m)が事業化され、令和5年度をもって事業が完了しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km		1.65	
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		4	

事務事業名 蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 09 年度		事務事業整理番号 1797

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、蓮沼地域（殿下・川下地区）から防災拠点である蓮沼避難タワーへのアクセス道路を整備します。
 整備内容 延長=1.6km 幅員=10.0m
 総事業費 452,000千円
 平成26年度 用地測量、設計
 平成27年度 設計、関係機関協議
 平成28年度 工事着手
 平成29年度～
 令和2年度 用地買収、工事 令和3年度 用地買収、工事
 令和4年度 用地買収、工事 令和5年度 用地買収、工事
 令和6年度 用地買収、工事 令和7年度 用地買収、工事
 令和8年度 工事 令和9年度 工事完了予定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年度当たりの市道改良延長	m	390	100	220
関係機関との協議回数	回	2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	987	1,087	1,307

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	27,842	12,300	0	14,700	842	0	56,322
05年度 実績	19,326	8,983	0	9,800	0	543	46,238
06年度 当初	84,299	30,250	0	51,300	0	2,749	(31,400)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
市道改良延長は、100mです。令和4年度からの繰越工事を実施しました。
 <原因>
令和5年度は約190mのL型擁壁による片側工事を実施しておりますが、令和6年度に繰越しているため、改良延長には計上しておりません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km		1.65	
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		4	

事務事業名 橋梁長寿命化修繕事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1826

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

橋りょう通行者の安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市で管理する橋梁について、平成30年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に目視等の点検・設計・工事を実施し、道路交通の安全性と信頼性を確保します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年間橋梁修繕件数	件	6	4	1
成果状況				
橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	0	0	0
年間の橋梁点検件数	件	184	56	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	23,749	4,530	0	8,700	0	10,519	46,865
05年度 実績	44,501	13,371	0	4,900	0	26,230	20,094
06年度 当初	89,459	41,520	0	27,700	0	20,239	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 修繕計画策定時の点検結果により、健全性 と判定された橋梁の修繕を 4 橋実施しておりますが、修繕計画から遅れており、一部遅延です。
 < 原因 >
 その理由としては、修繕計画策定後に実施した点検により、新たに健全性 と判定された橋梁が 3 橋発見されているためです。 令和 2 年度点検 1 橋、令和 4 年度点検 1 橋、令和 5 年度点検 1 橋 合計 3 橋

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km		1.65	
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		4	

事務事業名 松尾駅周辺排水対策事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路・橋りょうの整備・維持管理
計画年度	平成 28 年度 ~ 令和 07 年度		事務事業整理番号 1902

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
浸水区域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

浸水区域が減少し、浸水被害が低減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

浸水被害状況及び浸水区域を把握し、実施設計により対策工法を検討し、浸水対策工事を実施します。

検討面積：151ha
設計対象面積：46ha
工事延長L=1,818m
雨水貯留施設1基

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
浸水対策工事実施延長	m	175	459	210
		0		
成果状況				
浸水面積	ha	46	46	46
		0		

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	299	0	0	200	0	99	334,134
05年度 実績	0	0	0	0	0	0	344,566
06年度 当初	303,023	0	0	303,000	0	23	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和5年度は、水路区間の工事及び付帯工事を実施しました。全体計画に対して未 completion ため、事業成果は横ばいです。
<原因>
工法の検討や地域住民等と調整が必要な箇所があり、未施工の区間があるためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km		1.65	
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		4	

事務事業名 成東駅南口線整備促進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	03	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 令和 10 年度		事務事業整理番号 1548

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民 ・ 都市計画道路
--

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東駅南口へのアクセス向上が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

<p>千葉県が実施する成東駅南口線（都市計画道路）の道路整備費用の一部を市が負担します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 負担金額の協議 2. 負担金協定の締結 3. 負担金協定に基づく負担金額の支出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年度当たりの整備率（事業費ベース）	%	6.2	12.1	100
成果状況				
満足度	%	46.7	64.3	64
全体整備率（事業費ベース）	%	70.89	71.64	69.6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	182	0	0	0	0	182	526
05年度 実績	2,161	0	0	2,000	0	161	
06年度 当初	9,924	0	0	9,400	0	524	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 駅周辺の利便性に対する満足度は64.3%で、昨年度実績より17.6ポイント増加し。全体整備率は71.64%で、昨年度実績より0.75ポイント向上しましたが、整備完了までの事業進捗には遅延が見られます。</p> <p>< 原因 > 各駅周辺の整備後、時間の経過とともに利用の定着化が図られ、整備効果が発現していることが原因と考えられます。その一方で代替地の希望による交渉の難航などにより用地の収用が進まず、事業進捗に一部遅延が生じています。</p>

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	%		64.3	

事務事業名 成東駅北側道路整備事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	03	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	令和 05 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2208

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・成東駅北側道路

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路整備事業により消防活動困難地域の解消や通学路の安全確保につながり市の住環境が改善されるとともに、成東駅周辺の利便性が向上します。
--

事務事業の内容、やり方、手順

<p>【事務事業の内容】 道路整備に向けた事前調査を行います。</p> <p>【やり方・手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質調査業務 ・路線測量業務（中心線測量、縦横断測量） ・道路設計業務 ・軟弱地盤解析業務 ・関係機関協議 ・国庫補助要望 ・用地交渉、用地買収 ・整備工事
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
業務委託の完了数	件		0	2
年度当たりの整備延長	m		0	0
成果状況				
工事着手までの進捗率	%		0	50
整備工事完了までの進捗率	%		0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初	19,437	0	0	0	0	19,437	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p><状況> 都市計画道路の決定変更に係る関係期間協議が整わず、事業全体の進捗に遅延が生じています。</p> <p><原因> 関係期間協議が整わなかったため、予定していた地質調査業務、路線測量業務を発注することができなかったことが要因と考えられます。</p>
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	%		64.3	

事務事業名 さんぶの森公園グリーンタワー外壁等改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	04	基本事業名	公園の再整備と適正な管理
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1952

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園グリーンタワー

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶの森グリーンタワーの施設維持を実施するにあたり、今後は、展望塔より電波塔として外壁等の改修工事を行ない、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森グリーンタワーについて、施設老朽化により、階段や外壁等腐食部分の落下等の危険性が生じていることから、施設維持として、改修工事を実施します。

- R 5 さんぶの森公園グリーンタワー落下物対策仮設工事
- R 6 さんぶの森公園グリーンタワー外階段等修繕工事設計積算業務委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
委託件数		1	1	1
工事件数		0	0	0
成果状況				
改修進捗率		30	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	495	0	0	0	0	495	
05年度 実績	3,080	0	0	0	0	3,080	
06年度 当初	3,630	0	0	0	0	3,630	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 外壁等改修工事について、入札の不調により工事を行う事ができませんでした。
 < 原因 >
 工事業者の作業員等の不足、労務費や資材価格の高騰により、入札が不調になったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)	箇所		0	
公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件		1	

事務事業名 地籍調査事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	05	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	平成 07 年度 ~ 令和 24 年度		事務事業整理番号 635

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市域の土地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

土地の境界と面積等が明確になり、正確な土地の状況が登記簿と公図に反映されます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武地区を対象として、土地一筆ごとにその所有者、地番、地目、境界の調査を行い、測量を実施することにより、正確な地図「地籍図」と簿冊「地籍簿」を作成します。

- ・土地調査（公図・登記簿の閲覧）
- ・説明会の開催
- ・一筆地調査
- ・地籍測量
- ・土地所有者による閲覧
- ・国・県の認証
- ・地籍図と地籍簿を法務局へ送付
- ・固定資産税に係る賦課資料を課税課へ送付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
地籍調査事業の協力依頼通知件数	通	460	390	640
立会い調査回数	回	352	344	300
成果状況				
地籍調査実施面積	km ²	0.78	0.74	0.62
地籍調査後の法務局に送付した筆数	筆	177	0	677

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	45,378	0	19,935	0	117	25,326	
05年度 実績	45,268	0	20,097	0	126	25,045	
06年度 当初	129,454	0	65,640	0	115	63,699	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
説明会は、事務効率化と簡素化の観点から、書面開催としました。地籍測量は、当初計画どおり木原（7）地区の0.74 km²を順調に進めることができました。法務局への成果送付は、計画していた椎崎（9）・矢部（1）地区の成果送付が出来ませんでした。

< 原因 >
椎崎（9）・矢部（1）地区の法務局への成果送付に必要な、国土交通省への承認待ちで、日数を要したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
空家改善数（計画期間累計）	件		29	
景観条例指導件数	件		0	

事務事業名 空家等対策事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	05	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1999

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、空家等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市空家等対策計画に基づく空家等対策事業の実施により、空家等が適正に管理されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空家等対策計画に基づき以下のとおり空家対策を実施します。

- 空家の発生抑制・予防
- 啓発事業の実施、現地調査、助言書の通知
- 管理不全の解消
- 特定空家等の認定及び指導等の実施
- 利活用・市場流通の促進
- 空き家バンクの運用、啓発事業の実施
- その他
- 空家等対策協議会の開催（計画改定協議等）
- 空家等対策計画の改定

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
空家対策協議会の回数	回	1	3	2
空家への通知、指導数	件	55	52	50
成果状況				
空家の相談件数	件	94	88	50
特定空家の認定数（累計）	件	8	10	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	8,315	2,689	1,344	0	0	4,282	
05年度 実績	6,931	165	0	0	0	6,766	
06年度 当初	661	165	0	0	0	496	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 空家の相談件数は88件で昨年度と比較して6件減少しました。特定空家等の新規認定は2件で累計認定数は10件となっており、成果状況は維持・横ばいです。

<原因> 空家対策事業の実施により改善された管理不全な空家もあり相談件数の減少に繋がったものと思われます。特定空き家等については、特定空家化する前の対策が認定件数の増加を防いだと思われ、目標には及ばないものの順調に推移しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
空家改善数（計画期間累計）	件		29	
景観条例指導件数	件		0	

事務事業名 立地適正化計画策定事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	05	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	令和 04 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2181

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・職員

事務事業の内容、やり方、手順

山武市立地適正化計画策定の必要性の検討
 計画策定準備
 都市の現況特性の整理
 防災指針の検討
 公共交通の検討
 計画方針の作成
 都市機能誘導区域の検討
 居住誘導区域の検討
 パブリックコメントの実施
 都市計画審議会の開催

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

歩いて暮らせる集約型の都市づくりを実現するために、医療・商業・福祉・教育等の都市機能の立地のほか、人口分布や公共交通の配置状況を踏まえた実現性の高い方針を定め、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりを進めるため本事業を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
庁内会議等の開催回数		0	0	
成果状況				
策定スケジュールに対する進捗率		20	20	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,025	0	0	0	0	3,025	
05年度 実績							
06年度 当初							(6,985)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 策定スケジュールに対する進捗率は20%で昨年度と同様です。
 < 原因 >
 昨今の自然災害の激甚化・頻発化の状況を鑑み、立地適正化計画策定の検討と併せて防災指針の方向性についても検討する必要が生じたため、事業及び予算を令和6年度に繰越したためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
空家改善数（計画期間累計）	件		29	
景観条例指導件数	件		0	

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	持続可能な公共交通網の整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	市内における交通手段の確保
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 102

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
交通弱者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

日常生活の移動手段が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

・山武市地域公共交通活性化協議会へ補助金を交付し、協議会運営、基幹バス及び乗合タクシーの運行等を実施します。

・令和6年3月に策定した「山武市地域公共交通計画」に基づき、持続可能な公共交通網の整備推進のため、使いたくなる公共交通の実現に向けた事業を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数	回	33,855	28,425	28,425
成果状況				
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	217	219	219

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	89,653	0	0	0	0	89,653	
05年度 実績	81,790	0	0	0	81,790	0	
06年度 当初	90,000	0	0	0	0	90,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
基幹バス・乗合タクシーの1日あたりの利用者数は、前年と比べ2人増加し、約1%増加しました。
<原因>
1日あたりの利用者数について、基幹バスは13人の増加、乗合タクシーは11人の減少となっており、乗合タクシーの運賃改定の影響が利用者低下の要因のひとつとして考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等）	人		130,356	
バス運行状況の満足度	%		40	

事務事業名 空港シャトルバス利用促進事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	持続可能な公共交通網の整備の推進
基本事業番号	02	基本事業名	バスでの成田空港方面へのアクセス向上
計画年度	平成 13 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 105

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
芝山鉄道延伸連絡協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図ります。
 <バスの運行ルート等>
 空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所）
 大型バス2台で1日往復12便
 乗車料金：1回300円（ICカード利用270円）
 小学6年生まで及び障害者150円（ICカード135円）、小学6年生までの障害者80円（ICカード68円）、保護者同伴の乳幼児無料

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年間運行のべ回数	本	8,756	8,760	8,760
協議会（総会・幹事会）の開催回数	回	3	5	4
成果状況				
年間利用者数（山武市内9停留所）	人	19,277	23,043	41,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	22,771	0	0	0	0	22,771	
05年度 実績	58,833	0	0	13,100	9,000	36,733	
06年度 当初	28,431	0	0	0	0	28,431	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 空港シャトルバスの年間利用者は、前年度比3,766人増加しています。
 <原因>
 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、空港従事者や、学生、観光客等の人の流れが盛んになってきていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
成田空港方面への年間バス利用者数	人		20,222	

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	地域防災力の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区、自治会
自主防災組織

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に自分たちの地域の自主的な災害復旧活動が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。
 ・結成した自主防災組織を対象に1組織当り40万円を限度に必要な資機材の購入費に補助金を交付します。
 ・自主防災組織の活動費として、世帯数に応じて補助金を交付します。
 ・自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数	回	3	3	3
活動促進事業補助金交付件数	件	19	22	20
成果状況				
新規結成自主防災組織数（当該年度）	組織	0	2	5
自主防災組織数（合計）	組織	90	92	97

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,470	0	1,235	0	0	1,235	
05年度 実績	1,757	0	853	0	790	114	
06年度 当初	3,320	0	1,635	0	0	1,685	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 自主防災組織が2組織結成され順調です。
 <原因>
 近年、自然災害が激甚化、頻発化し全国各地で甚大な被害が発生しており、自助、共助の意識が高くなっていることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
自主防災組織数	組織		92	
自主防災組織の訓練実施割合	%		21.7	
個別避難計画の作成割合 (個別計画策定対象者分)	%		2.4	
避難所運営委員会設置割合	%		4.1	

事務事業名 防災行政無線整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	03	基本事業名	災害対応力の向上
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 14

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
整備すべき同報系無線局（操作卓 1箇所）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害情報を音声だけではなく携帯やスマートフォンなどを利用し市民に確実に伝達できる。

事務事業の内容、やり方、手順

既存防災行政無線操作卓を更新します。

令和5年4月 業者選定・契約
5月～ 機器選定・手配
7月～ 機器制作
8月～ 連携仕様調整
令和6年2月 機器更新作業・情報連携試験
3月 完了検査

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
操作卓整備数	局		1	0
	台			
成果状況				
操作卓工事進捗率	%		100	0
	%			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	67,100	0	0	65,800	0	1,300	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
当初の計画通りに工事が進捗し操作卓が完成し、事業の成果としては順調です。

<原因>
監督員の工程管理や請負業者の工事の実施が順調であったことが要因です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
職員訓練（機能別、避難所開設・運営等）回数	回		4	
食糧・飲料・物品の備蓄率	%		88.3	
災害情報発信システム・防災施設の不具合件数	件		1	

事務事業名 宅地耐震化推進事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	強靱化対策の推進
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2137

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大規模盛土造成地（33箇所）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

大規模地震の際に、地滑りによる崖崩れや土砂災害の発生の恐れが大きい大規模盛土造成地の災害対策として、基礎資料の整理や現地踏査等を行い、その結果、現地調査等が必要な場所についてはボーリングなどの地盤調査を実施します。

事務事業の内容、やり方、手順

計画準備
基礎資料収集整理
現地踏査
第二次スクリーニング優先度評価手法の検討
第二次スクリーニングの優先度評価
宅地カルテの作成
第二次スクリーニング計画の作成
第二次スクリーニングの実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
現地調査箇所数	箇所	3	2	2
成果状況				
事業実施に対する進捗率	%	80	90	95

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,165	1,485	0	0	0	1,680	
05年度 実績	10,569	3,271	0	0	0	7,298	
06年度 当初	20,438	6,317	0	0	0	14,121	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和4年度策定の大規模盛土造成地第2次スクリーニング計画において、優先的に調査すべきと位置づけられた2宅地のボーリング調査等（第2次スクリーニング）を実施しました。事業は順調に進んでいます。
< 原因 >
調査箇所の地元調整等を丁寧に進めたことなどにより、当初のスケジュールどおり令和5年度事業は完了しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数（計画期間累計）	事業		5	

事務事業名 消防ポンプ車等整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	05	基本事業名	消防力の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 4

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防ポンプ車等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

車両更新により消防力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

更新期間の目安を23年としていることから、車両状態などに応じて順次更新整備を行います。
 年度別更新計画
 ポンプ車、小型ポンプ付積載車
 R5年度 1台、 1台
 令和5年度の2台については、明許繰り越しをして、納期は令和6年度です。
 令和4年度から明許繰り越ししていた消防車（小型ポンプ）1台が令和5年度に整備されました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
使用年限到来による更新台数	台	0	1	2
成果状況				
使用年数23年以上経過した台数	台	3	4	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							17,896
06年度 当初	59,840	0	0	48,600	0	11,240	(50,928)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 新規登録から23年が経過する消防車両の整備を行うことができませんでした。
 <原因>
 消防車のシャシの品薄などから明許繰り越しして対応（2か年契約）していることが原因です。
 令和5年度については、令和4年度に明許繰り越しした消防車（小型ポンプ）1台が整備されました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
火災の損害額	千円		68,008	
火災による死者数	人		2	

事務事業名 消防団運営事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	災害に強い強靱なまちづくりの推進
基本事業番号	05	基本事業名	消防力の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 9

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防団
消防団員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消防力を高めることにより、市民の生命、身体、財産を災害から守り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

消防団員の各種訓練等を行います。
 4月～3月 役員会議
 4月 初任者訓練、ポンプ操法合同訓練
 5月 山武市消防ポンプ操法大会
 6月 山武消防ポンプ操法大会
 7月 千葉県消防操法大会
 9月 部長訓練・チェーンソー訓練
 12月 幹部研修
 12月 出初式に係る訓練、歳末夜警
 1月 出初式予行、出初式
 3月 消防大会
 中継訓練（7月、10月、11月 各地区等で実施）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
火災出動人員数（当該年度）	人	1,443	1,503	1,503
火災出動車両数（当該年度）	台	285	300	300
成果状況				
火災1件当りの出動人員（当該年度）	人	29.5	30	30
火災1件当りの出動台数（当該年度）	台	5.8	6	6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	36,388	0	0	0	0	36,388	
05年度 実績	47,293	0	0	0	1,573	45,720	
06年度 当初	57,956	0	0	0	0	57,956	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 火災1件当たりの出動人員、出動台数については、横ばいです。（2か年で見ると低下傾向です。）
 <原因>
 消防団員の減少や就業構造の変化などにより平日日中の火災出動人員、出動台数が少なくなっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
火災の損害額	千円		68,008	
火災による死者数	人		2	

事務事業名 共同利用施設等施設改修事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1474

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

地区共同利用施設
コミュニティ施設
施設利用対象市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

円滑に施設が利用され、重大事故の未防止など施設の利用上の安全確保が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

航空機騒音対策事業費交付金の交付対象地区から修繕の要望のあった施設について、緊急性や事業規模を確認したうえで実施年度の計画を構築し、修繕を行います。

手順

3月～4月 施設所在地区の区長等（館長含む）に修繕箇所等の有無照会及び状況の聞き取り
4月～5月 要望箇所の現地確認及び区長等との協議
6月～ 実施計画の構築（実施年度・事業規模等）
翌年度実施分予算要求
翌年4月～ 当該年度実施施設について区長等への説明後に事業発注

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
区長等との協議回数（共同利用施設）	回	8	12	10
区長等との協議回数（コミュニティ施設）	回	9	8	10
成果状況				
共同利用施設改修件数	件	5	5	5
コミュニティ施設改修件数	件	6	6	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	40,712	0	0	0	36,393	4,319	
05年度 実績	46,067	0	0	0	18,409	27,658	
06年度 当初	49,774	0	0	0	14,895	34,879	(1,430)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
所管施設については、各地区から修繕の要望・相談があります。
<原因>
施設については、老朽化等により修繕要望が増えたと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%		79.9	

事務事業名 航空機騒音対策空調機器設置事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1766

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

住民基本台帳に登録されている松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部の住民（航空機騒音の影響を受ける地域）
ただし、成田国際空港（株）及び（財）成田空港周辺地域共生財団による民家防音工事対象住宅を除く

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

航空機騒音が軽減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により騒防法第1種区域及び公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域を除いた航空機騒音の影響を受ける地域（松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部）の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を設置する工事を実施した者に補助金を交付します。
（平成28年度以前に実施した事業を令和元年度から対象等を変更して実施）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
補助金額	千円	23,542	14,482	28,800
成果状況				
空調機器補助台数（単年度）	台	295	182	360

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	23,514	0	0	0	23,514	0	
05年度 実績	14,526	0	0	0	12,705	1,821	
06年度 当初	28,800	0	0	0	2,000	26,800	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
設置台数は前年度と比べて減少しています。
<原因>
事業開始から5年目となり、申請数が落ち着いたためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%		79.9	

事務事業名 地球温暖化防止対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	01	基本事業名	地域脱炭素化の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 597

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

環境にやさしい生活様式を実践する方が増え、二酸化炭素排出量が抑制されています。

事務事業の内容、やり方、手順

温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化その他地球温暖化の防止を図るための取り組みを行います。

- ・脱炭素、省エネの啓発
- ・緑のカーテンの設置
- ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
緑のカーテンの面積	m ²	654	642	666
広報で啓蒙する	回	9	12	12
成果状況				
省エネへの生活様式平均実践項目数	個	2.85	3.12	3.28

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	9,778	7,260	0	0	0	2,518	
05年度 実績	123	0	0	0	0	123	
06年度 当初	3,980	0	0	0	0	3,980	(6,006)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 省エネへの生活様式平均実践項目数は、令和4年度より0.27ポイント増加しています。
 <原因>
 電気代の高騰等による省エネへの関心の高まりと、市等の啓発により各種省エネ対策が浸透しつつあると見られることが主な要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
再生可能エネルギーの導入量	k w		107,333	
山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	tCO2		4,678	
木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量	t		2,349.1	
省エネへの生活様式平均実践項目数	項目		3.12	

事務事業名 省エネルギー等対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	01	基本事業名	地域脱炭素化の推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（世帯）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住宅用省エネルギー設備等の設置により、家庭における地球温暖化対策が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

家庭における地球温暖化対策の促進に加え、電力の強靱化を図るため、住宅用設備等（定置用リチウムイオン蓄電システム、窓の断熱改修、電気自動車、充放電設備等）を導入する者に対し補助金を交付します。

【補助対象】
エネファーム、定置用リチウムイオン蓄電システム、窓の断熱改修、太陽熱利用システム、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、V2H充放電設備、充電設備（集合住宅）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
広報等で啓発した回数	回	4	1	1
成果状況				
補助金を活用して省エネ設備を導入した世帯数	世帯	42	37	44

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,993	0	2,987	0	0	6	
05年度 実績	2,846	0	2,840	0	0	6	
06年度 当初	5,110	0	5,060	0	0	50	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
補助金を活用して省エネ設備を導入した世帯数は、令和4年度より5件減少しており、低下しています。
< 原因 >
蓄電池の補助金採択件数が、令和4年度が39件であったところ令和5年度は26件に減少していることから、太陽光発電による売電から蓄電への切替の動きが若干落ち着いたとみられることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
再生可能エネルギーの導入量	k w		107,333	
山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	tCO2		4,678	
木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量	t		2,349.1	
省エネへの生活様式平均実践項目数	項目		3.12	

事務事業名 ごみ収集事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	02	基本事業名	3Rの推進とごみ処理の適正化
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 596

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

廃棄物の減量化及び廃棄物処理の適正化を図り、市民の生活環境を清潔に保つことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

- 一般廃棄物を適正に処理するため、下記のことを行います。
- ・ごみカレンダーの作成
 - ・ごみ収集袋の作成
 - ・ごみ袋販売業務委託
 - ・一般廃棄物収集運搬業務委託
 - ・廃電池処理委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
可燃ごみ袋販売枚数	枚	1,010,420	842,950	996,000
成果状況				
家庭からの可燃ごみ排出量	t	8,760	8,283	8,200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	84,427	0	0	0	48,976	35,451	
05年度 実績	84,796	0	0	0	49,657	35,139	1,296
06年度 当初	91,807	0	0	0	49,260	42,547	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
家庭からの可燃ごみ排出量は、令和4年度より477t減少し、順調です。
< 原因 >
家庭用生ごみ堆肥化装置補助件数が増加していることなど、市民のごみの減量化に対する意識が向上しているものと思われま。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
家庭ごみ排出量	t		9,348	
再資源化率	%		21.3	
ルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数	件		3,315	
1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)	円		11,024	

事務事業名 浄化槽設置支援事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	脱炭素・循環型社会の形成
基本事業番号	03	基本事業名	汚水処理の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 598

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（くみ取り槽、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する者。）

事務事業の内容、やり方、手順

くみ取り槽、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する場合に補助を行い、合併処理浄化槽の設置を促進します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未処理の生活排水が排出されなくなります。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
1年間の浄化槽補助金申請件数	件	54	60	70
成果状況				
単独浄化槽設置基数	基	4,037	4,019	4,008
し尿処理世帯戸数	戸	1,985	1,957	1,938

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	44,285	19,414	13,510	0	11,361	0	
05年度 実績	49,279	22,513	14,637	0	12,129	0	
06年度 当初	58,448	26,774	17,364	0	14,310	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和4年度と比較して、単独処理浄化槽設置基数は18件減少し、し尿処理世帯戸数は28件減少しており、順調です。
 <原因>
 未処理の生活排水を排出していた世帯の汚水処理意識が向上したことにより、合併処理浄化槽への転換が進んだことが要因と思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
合併処理浄化槽設置基数	基		60	
農業集落排水供用戸数	戸		1,059	

事務事業名 防犯灯維持管理事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	04	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 189

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・既設防犯灯

事務事業の内容、やり方、手順

・市内における夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するため、道路及びその周辺の既設防犯灯の管理を行った他、区からの要望に応じて防犯灯を新設しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

防犯灯が適切に管理されていることにより、夜間における危険箇所が解消され、市民の安全が確保されています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
管理基数	基	8,118	8,124	8,124
成果状況				
苦情件数	件	1	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	24,336	0	0	0	413	23,923	
05年度 実績	24,832	0	0	0	0	24,832	
06年度 当初	35,607	0	0	0	0	35,607	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
防犯灯に関する苦情件数は、令和4年度と比較し1件減少し0件となりました。
<原因>
修繕等の要望に対し、迅速に対応したことが理由と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数（計画期間累計）	箇所		128	

事務事業名 消費生活相談事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	04	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	04	基本事業名	消費者トラブルの防止
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

消費生活センターの運営
 開設日 月～金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日を除く）
 開設時間 午前9時～正午まで及び午後1時～午後4時30分まで
 業務
 ・消費生活相談員による事業者に対する消費者からの苦情に係る相談及び処理のためのあつせん
 ・消費生活における安全性の確保のために必要な情報の収集及び提供

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差が軽減され、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようになります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
消費生活センターへの問合せ件数	回	2,215	2,181	2,100
啓発物の配布枚数	枚	10,500	11,355	11,500
成果状況				
消費者相談件数（山武市受付分）	件	412	415	400
消費者相談件数	件	606	680	600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,650	0	1,071	0	175	404	
05年度 実績	1,530	0	1,057	0	0	473	
06年度 当初	1,866	0	919	0	0	947	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 相談件数は令和4年度より3件増加しており、順調です。
 <原因>
 相談件数は微増ですが、非接触型のインターネット通販等に係る相談や電子マネーを悪用した高額な被害が多発しており、コロナ禍を経て生活スタイルの変化による消費者トラブルの増加が今後も続いていくと想定されます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
消費者トラブルにあった市民の割合	%		4.8	

事務事業名 経営所得安定対策推進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進		
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1602	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市農業再生協議会
農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業経営の安定化が図られています。
産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物（水稻）を対象に、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、主食用米から新規需要米への作付転換を支援します。
市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
生産調整面積	h a	1,172	1,171	1,100
成果状況				
生産調整実績	h a	822	815	750
事業加入者数	人	261	236	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	116,678	0	20,653	0	0	96,025	
05年度 実績	109,630	0	13,802	0	0	95,828	
06年度 当初	111,560	0	14,150	0	0	97,410	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和 4 年度と比較して、生産調整実績は 7 ha、事業加入者数は 25 人減少しています。
< 原因 >
米価が上昇していることから主食用米への作付転換が増加したものと考えられます。引き続き新規加入者並びに生産調整面積を増やしていく必要があります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
耕地面積(水田、畑)	h a		5,580	
家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)	件		0	

事務事業名 認定農業者育成事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 447

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内認定農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進むことで、農業経営が改善されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械の購入（貨物自動車を除く。）及び農業用施設の整備に要する経費の10%以内を限度額200,000円（スマート農業関連機械及び施設については、経費の20%以内を限度額500,000円）として、同一年度内に一度限り助成します。
なお、交付申請をした翌年度については、事業申請できません。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
事業要望件数	件	36	29	28
補助金交付件数	件	35	29	28
成果状況				
交付額	円	8,142,000	7,769,000	8,000,000
認定農業者増加件数	人	2	-10	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	8,142	0	0	0	0	8,142	
05年度 実績	7,769	0	0	0	0	7,769	
06年度 当初	8,000	0	0	0	0	8,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和4年度と比較して、補助金交付額は373千円、認定農業者数は10人減少しています。
< 原因 >
補助金交付額の減少は、交付件数が6件減少したことによるものです。認定農業者数の減少は、高齢等の理由により認定の更新をしなかった農業者がいたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
農用地利用集積率	%		33.3	
新規就農者数（計画期間累計）	人		5	

事務事業名 地域農業経営支援事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 1667

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新規就農者や農業後継者を支援することで、地域農業の担い手が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

人・農地プランの進捗管理及び新規就農者に対する助成を行います。
 ・農業次世代人材投資資金（～R3）/経営開始資金（R4～）*新規就農者
 ・経営発展支援事業補助金*新規就農者
 ・経営継承・発展等支援事業補助金*農業後継者

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
マスタープラン作成地区数	箇所	13	13	13
成果状況				
経営開始資金（旧農業次世代人材投資資金）交付件数	人	10	11	18
	a			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	16,327	0	16,027	0	0	300	
05年度 実績	30,252	0	27,616	0	0	2,636	
06年度 当初	76,870	0	65,175	0	500	11,195	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和4年度と比較して、給付金支給者数は、1人増加しています。
 <原因>
 給付金支給者2人が資金支給期間の終了により減となりましたが、新規で3人の申請があったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
農用地利用集積率	%		33.3	
新規就農者数（計画期間累計）	人		5	

事務事業名 農業水路等長寿命化・防災減災事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	04	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1996

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業水利施設の整備、更新等により生産基盤が整備されています。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化した農業水路等の農業水利施設の整備、更新等を地域の実情に応じて実施します。
 山武市 期 水路整備工事（H1200×B2000）L = 242.5m
 武野里 水路整備工事（H1200×B800）L = 405.9m
 山武市 期 測量設計委託 1式（L = 1.3km）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
整備更新等に係る事業数	件	3	3	5
成果状況				
事業実施済地区数	地区	3	3	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	8,140	0	5,617	1,500	0	1,023	33,107
05年度 実績	98,543	0	61,639	17,500	0	19,404	25,531
06年度 当初	238,000	0	130,305	38,000	30,000	39,695	(72,458)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 水路幅員が確保できたので、水路整備工事を発注し完成しました。
 <原因>
 地権者が仮設道路用地を提供することにより、支障なく工事が完成しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所		5	

事務事業名 ほ場整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	04	基本事業名	農業基盤整備の推進	
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1997

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

担い手へ農地が集積・集約化され、耕作放棄の発生が防止されています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、受益対象農地について、区画整理、農用地造成等の基盤整備事業を実施します。
八田地区市有地及び県有地編入承認申請書作成業務委託ほか2件
島地区経営体育成促進換地等調整業務委託ほか4件
早船地区ほ場整備事業に伴う計画策定業務委託
計9件の業務委託をし、八田地区の採択申請をしました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
事業実施予定地区数	地区	3	3	3
成果状況				
事業採択申請件数	件	0	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	18,574	0	4,998	0	0	13,576	
05年度 実績	21,086	0	8,000	4,300	2,886	5,900	
06年度 当初	8,431	0	1,909	2,200	0	4,322	(11,528)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
3地区に土地改良事業推進員が設立され事業採択に向けて進捗しています。
<原因>
推進員が地権者に対して事業の説明をしています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所		5	

事務事業名 サンプスギ林再生・資源循環促進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	05	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1695

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内山林（溝腐病の激害林）
千葉県森林組合北総事業所等の事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

スギ非赤枯性溝腐病に罹患した被害森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

森林所有者からの委託により、千葉県森林組合北総事業所等が実施したサンプスギ被害林の整備に対して、整備費用の10分の7（県4/10・市3/10）を補助しました。

内容 被害木の伐倒、搬出及び整理
跡地への植栽
被害材の運搬

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
補助金額	円	29,038	28,465	35,190
成果状況				
サンプスギ林再生・資源循環促進事業で整備された山林面積	ha	3.01	3.58	3.8
被害材の運搬量	立米	2,300	1,920	3,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,271	0	1,757	0	0	514	26,767
05年度 実績	15,225	0	11,783	0	0	3,442	13,241
06年度 当初	35,190	0	26,080	0	0	9,110	(4,812)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
本事業で整備された森林面積は3.58haで、前年度と比較して0.57ha増加し、被害材の運搬量は1,920立米で、380立米減少しました。
<原因>
運搬量は減少したものの、補助金を活用した整備面積は前年度より拡大しており、森林の整備が順調に進んでいると考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所		39	
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t		3,486	

事務事業名 自治体連携森林整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	05	基本事業名	森林再生の推進		
計画年度	令和 04 年度 ~ 令和 08 年度			事務事業整理番号	2202

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

浦安市、浦安市民、市内森林事業者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

協定締結市町村の森林環境譲与税を財源に山武市内の森林整備により確保される二酸化炭素吸収量をもって協定締結市町村の二酸化炭素排出量が相殺されます。また、市内産木材の活用により、森林保全と地球温暖化対策の推進に関する理解が深まります。

事務事業の内容、やり方、手順

森林を持たない市町村が森林環境譲与税を有効活用するため、浦安市との協定に基づき、森林整備の実施や木産材木材製品の提供を行いました。

浦安市との連携

- ・森林整備、木材活用に係る計画書作成
- ・林業事業者への補助金交付事業として実施
- ・二酸化炭素吸収量の算出（計算式による）
- ・木材製品の提供
- ・合同植樹祭の実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
補助金額		5,000	5,000	5,000
成果状況				
自治体連携森林整備事業で整備された森林面積		3.55	4.78	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	5,000	0	0	0	5,000	0	
05年度 実績	5,000	0	0	0	5,000	0	
06年度 当初	8,000	0	0	0	8,000	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
整備された森林面積は4.78haで、前年度と比較して1.23ha増加しました。
< 原因 >
協定に基づく森林整備を引き続き推進したことにより、整備面積が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所		39	
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t		3,486	

事務事業名 農業委員会運営事業

農業委員会事務局 農業委員会事務局

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業委員 農地利用最適化推進委員 農地 農業者

事務事業の内容、やり方、手順

農地法による権利移転や転用、農業経営基盤強化法や農地中間管理事業の推進に関する法律による利用権設定等の希望者に対し、申請に係る指導等を行い、農地の適正利用を図りました。また、提出された農地法許可議案等は、毎月開催される総会において審議し、承認された案件については、速やかに許可や県への進達を行いました。
その他の事業については以下のとおり実施しました。
・農家基本台帳の整備
・農地法に基づく農地の利用状況について調査
・農業委員・農地利用最適化推進委員の研修、視察研修の開催
・法務局や裁判所等からの地目変更照会に対する調査回答
・地域計画策定に向けた目標地図素案作成に協力

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農地が適正に利用されます。
農業経営が向上します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
審議議案数	件	358	445	500
現地調査件数	件	435	522	550
成果状況				
農地申請不許可率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	22,214	0	4,842	0	0	17,372	
05年度 実績	22,606	0	4,554	0	0	18,052	
06年度 当初	22,539	0	4,050	0	0	18,489	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会運営が円滑に行われ、農地の適正利用が図られました。
<原因>
農地法等の法令について、農業委員及び農地利用最適化推進委員と事務局が連携し、また、現地確認等を迅速に実施していることが円滑な運営につながりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値

事務事業名 エコノミックガーデニング推進事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1802

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中小企業、小規模事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地元企業が成長し、雇用が確保されるとともに経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんむエコノミックガーデニング推進協議会を中心にエコノミックガーデニング事業を推進します。企業ヒアリングによりエコノミックガーデニング事業の推進を図ります。

事業内容

- ・さんむエコノミックガーデニング推進協議会の運営
- ・エコノミックガーデニング事業の企画、展開
- ・商圈分析などデータ構築、提供
- ・域内企業マッチング

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
活動事業数	事業	9	11	15
成果状況				
参加事業所数	所	81	91	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,438	0	0	0	983	455	
05年度 実績	2,012	0	0	0	1,114	898	
06年度 当初	3,018	0	0	0	1,500	1,518	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
協議会への参加事業所数は、令和4年度より10事業所増加しており順調です。
< 原因 >
新型コロナウイルス感染症の取扱いも5類になり、協議会による支援体制が更に充実し、活動が活発になってきたことが、参加事業所の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%		66.8	
新規法人登録件数(計画期間累計)	件		125	
法人市民税の増加事業所割合	%		32	

事務事業名 商店等魅力発信事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	令和 03 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 2165

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内事業者、市民、観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内事業者の顧客増加及び市の活性化

事務事業の内容、やり方、手順

書籍にて市内の商店や観光スポット等を紹介する。現在発行しているSAMMUMAGAZINEが大変好評であるため、同誌の新刊（続編）を作成します。

作成部数 10,000部

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
YouTube動画作成本数		8	0	0
書籍発行部数		19,200	10,000	10,000
成果状況				
作成YouTube動画再生回数		37,000	43,000	44,000
書籍販売（配布）部数		19,200	10,000	10,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	6,794	0	0	0	2,150	4,644	
05年度 実績	7,598	0	0	0	7,074	524	
06年度 当初	9,641	0	0	0	4,300	5,341	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > Youtube動画再生回数は43,000回で令和4年度と比べ6,000回増加、書籍（SAMMUMAGAZINE）の配付部数は10,000部で今年度の予定配付数に達しており、それぞれ順調です。
 < 原因 > 各動画とも再生回数が増えましたが、一つの動画だけで3,000回以上再生回数が増加しており、今後は再生回数の多い動画の検証が必要と考えます。書籍配付部数は令和4年度に2冊（Vol.2、Vol.3）制作しており令和5年度は1冊（Vol.4）の制作のみであるため低下となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%		66.8	
新規法人登録件数(計画期間累計)	件		125	
法人市民税の増加事業所割合	%		32	

事務事業名 地域応援クーポン券事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	令和 03 年度 ~ 令和 04 年度		事務事業整理番号 2200

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市内事業者

事務事業の内容、やり方、手順

新型コロナウイルス感染症の影響で低迷した消費を喚起し、市内の事業者を支援するため、山武市商工会が行う地域応援クーポン券発行事業に要する経費の一部について、予算の範囲内において補助金を交付する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

物価高騰の影響を受けている市内事業者及び市民の支援策としてお買い物割引券を配付。市内消費の喚起及び地域経済活性化を図る。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
クーポン券発行数	枚	492,686	290,754	0
成果状況				
クーポン券使用率	%	92.46	93.71	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	103,552	103,552	0	0	0	0	154,328
05年度 実績	151,944	136,422	0	0	0	15,522	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
お買い物割引クーポン券を1回配付。総発行枚数は290,754枚、使用率93.71%で、令和4年度と比べ使用率が1.25%上昇しており、順調です。
<原因>
令和4年度に2回配付しており、市民のクーポン券の認識が高まったことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%		66.8	
新規法人登録件数(計画期間累計)	件		125	
法人市民税の増加事業所割合	%		32	

事務事業名 地域経済活性化支援事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	01	基本事業名	経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2247

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、商工会、商工会員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内店舗、事業者の顧客増加及び市の経済活性化に寄与します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市商工会が実施する新型コロナウイルス対策関係事業の消費喚起イベント実施等にかかる費用に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。

補助金交付要綱の制定
補助金申請
補助金交付決定
実績報告
額の確定、補助金の精算

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
補助額			1,000	1,000
成果状況				
商工会が実施したイベント数			1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	1,000	0	0	0	0	1,000	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
イベント開催数は1回で、予定どおり開催でき順調でした。
<原因>
産業まつりと同日開催としたことで、準備等が効率的に行われ、計画どおり実施できました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%		66.8	
新規法人登録件数(計画期間累計)	件		125	
法人市民税の増加事業所割合	%		32	

事務事業名 企業誘致促進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	02	基本事業名	工業の振興
計画年度	令和 02 年度 ~	年度	
			事務事業整理番号 2077

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

企業

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内に新たな企業が立地することにより、地域経済の活性化及び雇用の場の拡大が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

企業の立地に向けて、次の業務を実施します。
 企業立地に係る情報収集
 ・千葉県や金融機関等との意見交換
 企業誘致に係る支援制度の周知PR
 ・市ホームページ、チラシ、イベントフェアへの参加等
 企業との相談受付
 ・企業訪問、企業からの引き合い等から誘致に向けた交渉
 新たな産業用地の検討
 山武市企業立地促進条例（令和2年4月1日施行）に基づく各種奨励金の交付により、立地企業への財政的な支援を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
企業誘致支援制度の周知PR回数		2	2	5
企業との相談回数		12	21	10
成果状況				
企業等からの照会件数		8	16	4
企業立地・拡張件数		0	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	134	0	0	0	0	134	
05年度 実績	13,411	0	0	13,300	100	11	
06年度 当初	20,635	0	0	20,500	0	135	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 企業等からの照会件数が昨年度と比較して8件、100.0%増加しているほか、企業立地支援制度の対象となる事業所の拡張が1件ありました。
 <原因>
 山武市企業立地促進条例に基づく各種奨励金等の施策が認知されてきたことや、国主催のサウンディング型市場調査への参加等により、企業との対話機会が増加したことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市内工業団地の従業者数	人		1,773	
従業員一人当たりの製造品出荷額	千円		59,230	

事務事業名 UIJターンによる起業・就業者等創出事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	03	基本事業名	成田空港経済圏の形成
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2215

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市に移住する者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内への移住者が増加し、市内事業者の雇用が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内中小企業等に就業する方、特定分野で起業する方や移住元の業務を引き続きテレワークで実施する方等に対し、移住に要する経費の一部を補助しました。（移住支援金事業）

<補助内容>
 東京23区等から移住し、かつ、就職、起業、テレワーク等で定着に至った者
 ・2人以上世帯 100万円 + 100万円 × 18歳未満人数
 ・単独世帯 60万円

県補助事業（国1/2、県1/4）
 起業の場合は別途最大200万円補助（起業支援事業補助金）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
マッチングサイトに掲載された年間求人件数			21	20
マッチングサイトで求人した延べ事業者数			10	10
成果状況				
移住支援金を活用した転入者数			3	9
移住支援金を活用した世帯数			2	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	2,600	1,950	0	0	0	650	
06年度 当初	6,600	4,950	0	0	0	1,650	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 転入者数及び世帯数ともに当初の数値を下回っています。
 <原因>
 事業開始年度のため、山武市が移住支援金を実施していることが移住検討者へ周知されていないためと考えられます。また、本事業の交付対象となる移住者は、東京23区に在住又は東京圏から東京23区へ通勤していた方が対象となるため、交付対象となる移住者の範囲が限定的であることも要因であると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
成田空港周辺自治体としての取組件数	件		5	
成田空港内で働く市内従業員数	人		478(R4)	

事務事業名 サマーカーニバル実行委員会補助事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	03	施策名	観光の振興
基本事業番号	01	基本事業名	魅力ある観光事業の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 547

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・観光客
- ・山武市サマーカーニバル実行委員会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市サマーカーニバル実行委員会の実施事業を支援することで、市民のふるさと意識の高揚や心のふれあいの場として、また、観光客の誘致と地域産業の振興を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

市民のふるさと意識の高揚や心のふれあいの場として、また、観光客の誘致と地域産業の振興のため、各種団体が協力して開催する山武市サマーカーニバルの事業費について、補助金を交付します。

令和4年度は、開催の準備を進めていましたが、急激な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
チラシ作成数	枚	0	13,000	20,000
成果状況				
入込数	人	0	30,000	15,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	813	0	0	0	407	406	
05年度 実績	5,929	0	3,000	0	2,929	0	
06年度 当初	5,000	0	0	0	2,500	2,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
6年ぶりの開催となり、入込数は計画を大幅に上回りました。
<原因>
新型コロナウイルス感染症等の影響によりイベントの開催が自粛されていましたが、久しぶりの開催により市外からの来場者が増加したことが要因と思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
主要施設の年間来客者数（オライはすぬま、さんぶの森公園、蓮沼海浜公園）	人		1,265,785	
広域(県)、民間事業者との連携事業数	件		14	
体験型観光利用者数	人		574,414	

事務事業名 海岸施設維持管理事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	03	施策名	観光の振興		
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進		
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	554

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・観光客
- ・海岸観光施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸観光施設（駐車場・公衆トイレ等）及び椰子の木等の景観の維持管理等を実施し観光客の増加を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の増加を図るため、市内 5ヶ所の海水浴場を含む海岸施設（海岸駐車場・公衆トイレ等）及び椰子の木等の景観の維持管理等を実施します。

- ・本須賀海水浴場のトイレ、シャワー施設整備事業を推進します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
整備実施面積	m ²	8,606	8,606	8,606
成果状況				
不具合件数	件	2	3	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	5,708	0	0	0	2,663	3,045	
05年度 実績	9,263	0	0	0	3,619	5,644	
06年度 当初	112,388	0	7,500	0	89,344	15,544	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
海岸施設の不具合件数は、前年度よりも1件増加しましたが、順調です。
<原因>
施設の老朽に伴う修繕を3件行いましたが、いずれも軽微なものであり、利用者の利便性を損なうことなく修繕を完了できました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人		58,303	
海岸を利用した撮影及び活動件数	件		93	

事務事業名 美しい海水浴場次世代継承事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	03	施策名	観光の振興
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進
計画年度	令和 01 年度 ~	年度	
		事務事業整理番号	2013

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・本須賀海水浴場
- ・観光客
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ブルーフラッグ取得によるイメージアップにより、観光客が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

- 本須賀海水浴場において、国際環境認証ブルーフラッグの更新取得を目指します。美しいビーチを次世代に継承していくために、環境保全活動に積極的に取り組みます。
- ・海岸環境保全教育
 - ・ビーチクリーン活動及び支援
 - ・水質検査（開設前1回・開設期間中5回）
 - ・安全リスク評価（3年に1回・次回は2024年度）
 - ・ブルーフラッグ認証取得申請（毎年更新）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
海岸環境教育活動回数	回	23	12	12
成果状況				
海岸環境教育活動参加者数	人	1,110	715	1,000
本須賀海水浴場入込数	人	33,294	40,437	46,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,870	0	0	0	3,713	157	
05年度 実績	4,165	0	0	0	4,164	1	
06年度 当初	5,115	0	0	0	5,095	20	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
海岸環境教育活動参加者数は、395人減少していますが、本須賀海水浴場入込数は、7,143人増加しています。
<原因>
新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響がなくなり、観光客が増加したことが要因と思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人		58,303	
海岸を利用した撮影及び活動件数	件		93	

事務事業名 介護予防サービス計画作成委託事業

保健福祉部 高齢者支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと介護予防の推進
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 361

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

指定介護予防支援事業者
要支援認定者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

認定者に速やかに介護予防サービスを提供し、要支援状態の改善や、重度化の予防につなげます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域包括支援センター運営協議会にて予防給付に係るケアマネジメントを委託する事業者の承認を得ます。
承認を得た事業者にケアマネジメントを委託します。
委託ケアマネジメントに係る居宅サービス計画の承認・サービス提供票、評価表を確認します。
給付管理。
委託料の支払。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
受託指定居宅介護支援事業者	件	35	30	30
介護予防サービス利用者数	人	81	110	106
成果状況				
受託指定居宅介護支援事業者によるケアマネジメント数	件	71	90	87
ケアマネジメントによるトラブル件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	4,231	0	0	0	0	4,231	
05年度 実績	4,511	0	0	0	0	4,511	
06年度 当初	4,804	0	0	0	4,659	145	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
受託事業者のケアマネジメント件数が確保され、トラブルもなく順調です。
<原因>
その理由としては、利用者件数は横ばいであったものの、介護予防サービス計画作成についての受託事業者が確保されていることです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%		47.3	
生きがいを持っている高齢者の割合	%		43.8	
要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢	歳		81.7	

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	02	基本事業名	暮らしを支えるサービスの充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 357

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方
身体障害者1級または2級に該当する65歳未満の方のみで構成される世帯に属する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

急病等の緊急時に適切な対応が行われ、日常生活上の不安が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

対象世帯に緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、日常生活の不安を解消します。また、申請により救急医療情報キットの配布を行います。

<事務手順>

緊急通報装置貸与申請を市に提出します。（救急医療情報キットについては、申請書の提出のみ）
該当要件を審査し該当者には決定通知を郵送します。
市と契約した事業者が日程調整のうえ装置を設置します。
貸与は無料で、設置に係る費用は市が負担します。
月に一度、市と契約した事業者が安否確認の連絡をします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	55	58	54
お元気コール実施回数	回	4,392	4,356	4,560
成果状況				
緊急通報連絡により対応した件数	件	218	240	250
緊急通報装置の設置数	台	365	362	380

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	6,047	0	0	0	0	6,047	
05年度 実績	4,284	0	0	0	0	4,284	
06年度 当初	4,482	0	0	0	0	4,482	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 緊急通報連絡により対応した件数は、令和4年度と比較して22件の増加、緊急通報装置の設置数は、3件の減少となり、いずれも横ばいです。
<原因> 緊急通報装置の設置台数については、包括支援センターや民生委員による情報提供から新規設置となる台数と、施設入所や死亡により撤去となる台数が均衡しているためと考えられます。また、これに伴い、機器を利用して行われた緊急通報連絡も同程度の件数となったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
支えあいや仕組みで見守られている高齢者数（のべ）	人		382	

事務事業名 障害者自立支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1063

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害者総合支援法に基づく障害（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）を持っている山武市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障がいのある人が自立を図るため、障害福祉サービスが受けられます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害の手帳や難病の受給者証を所持している方を対象に、障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付等）の支給決定や給付を行う事業。

【利用申請手順】

窓口にて申請
心身の状況の調査
医師の意見書の取り寄せ
審査会にて障害支援区分の判定
サービス等利用計画の作成、提出
支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
介護給付費・訓練等給付費の支給を行った人数	人	540	542	544
成果状況				
障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合	%	22.2	21.8	21.4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,212,213	596,427	297,911	0	0	317,875	
05年度 実績	1,266,344	631,880	315,703	0	0	318,761	
06年度 当初	1,344,605	671,230	335,614	0	0	337,761	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和5年度は前年度と比較し支給決定人数は2名増加し542名となっています。成果指標は0.4ポイント低下し21.8%となっています。
<原因>
新規利用者もいますが、介護保険制度への移行や転出等により利用者数は微増でした。障害者手帳所持者増加したことにより、介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合は低下しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
自立支援給付サービスの実利用者数	人		542	

事務事業名 障害児通所等支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	03	基本事業名	発達が気になる子への支援
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1995

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童福祉法に規定する障害児及び精神障害者のうち18歳未満の者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障害のある児童の生活能力の向上と自立が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害手帳を所持している児童や、発達が気になる児童に対して、障害児通所支援を利用していただく事業

【利用申請手順】
窓口にて申請
手帳のコピーか意見書を提出
サービス等利用計画の作成、提出
支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
通所受給者証を交付した就学前の児童数	人	57	56	56
通所受給者証を交付した就学後の児童数	人	147	169	169
成果状況				
通所支援を利用した就学前の児童の割合	%	89	94	94
通所支援を利用した就学後の児童の割合	%	96	96	96

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	207,522	100,671	50,284	0	0	56,567	
05年度 実績	221,739	110,869	55,419	0	0	55,451	
06年度 当初	241,629	120,539	60,269	0	0	60,821	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 通所支援を利用した就学前の児童の割合は94%、通所支援を利用した就学後の児童の割合は96%です。通所支援を利用した就学前の児童の利用率は昨年度と比較し5%増加、通所支援を利用した就学後の児童の利用率は昨年度と同様の割合を維持しています。
< 原因 > どちらも利用率は90%を超えており、サービスの支給決定を受けた児童が適切に通所支援を利用しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
障がい児通所支援の利用者数	人		225	
切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合	%		88.8	

事務事業名 がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善
計画年度	令和 03 年度 ~	年度	
事務事業整理番号			2150

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

20歳以上の市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民の、がんの早期発見・早期治療につながります。

事務事業の内容、やり方、手順

集団検診（胃、大腸、乳、子宮、肺、前立腺）会場は保健センター等
 ・広報、保健事業案内、ホームページ等で周知
 ・毎年度4月に申込受付
 ・各検診実施時期2週間前までに受診票等を送付
 ・検診料金 胃1,200円 大腸300円 乳1,200円 子宮800円 肺 無料 前立腺800円
 個別検診（胃、大腸、乳、子宮）会場は各委託医療機関
 ・広報、保健事業案内、ホームページ等で周知
 ・乳・子宮は6～1月、胃・大腸は8～1月受付実施
 ・検診料金 胃5,000円 大腸500円 乳1,800～2,100円 子宮2,100円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
集団がん検診実施日数	日	52	45	45
成果状況				
がん検診（集団・個別）受診者数	人	14,069	12,592	15,914
要精検と判定された受診者数	人	445	451	570

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	45,582	32	0	0	3,521	42,029	
05年度 実績	41,685	10	0	0	2,984	38,691	
06年度 当初	55,910	38	0	0	4,316	51,556	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和5年度のがん検診受診者数は12,592人で令和4年度より1,477人減少しました。
 <原因>
 前年度受診者に対して個別の案内を行わなかったことによる申込者数の減少が影響していると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%		42.1	
後期高齢者健康診査受診率	%		28	
がん検診を年1回受けている市民の割合	%		40.5	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%		32.4	

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	05	基本事業名	感染症等対策の推進	
計画年度	令和 02 年度 ~ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2153

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

厚生労働大臣が新型コロナワクチン接種対象者に指定した市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症の予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図るものです。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・都道府県による全国知事会との集合契約に参加
- ・ワクチン及び超低温冷凍庫は、国で買い上げ、分配
- ・国で指定する対象者に対し、無料接種券を送付
- ・原則居住市町村内で接種。医療従事者等やむを得ない場合は、施設等で接種を実施し、集合契約により国民健康保険連合会経由で接種費用を支払う
- ・市民への相談窓口として、コールセンターを設置
- ・予防接種による健康被害への救済給付
- ・接種体制確保事業は国庫補助金
- ・接種費用の財源は国庫負担金

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
接種券配付数	人	45,865	42,176	
成果状況				
予防接種を受けた対象者の割合	%	78	33	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	92,168	92,168	0	0	0	0	206,798
05年度 実績	88,785	23,630	0	0	0	65,155	105,943
06年度 当初							(675)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和 5 年度新型コロナワクチン秋開始接種率は33%で、令和 4 年度の 3 回目接種率と比較すると45ポイント減少しました。
< 原因 >
接種回数・罹患者の増加により、市民の新型コロナウイルスへの危機感が低下し接種率が減少したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
麻しん・風しん混合（MR）予防接種率	%		91.5	
新型コロナウイルスワクチン接種率	%		0.4	

事務事業名 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	06	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1290

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんむ医療センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんむ医療センターが健全に運営されます。

事務事業の内容、やり方、手順

内容：さんむ医療センターへの繰出金の処理、長期貸付金にかかる病院企業債の借入れ事務等
 やり方：繰出し基準により金額を算出し、予算を確保します。病院企業債の借入れについては、県に申請し、借入れ同意を得ます。
 手順：【繰出し関係】予算要求 予算の承認 さんむ医療センターからの請求 支出伝票の起票 決裁 会計課へ伝票の送付 支出
 【借入れ関係】さんむ医療センターから市へ長期借入れの申請 市は県へ借入れの申請 ヒアリング 同意 借入れ手続き 入金 さんむ医療センターへ貸付け さんむ医療センターは借入証書を提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
さんむ医療センターとの病院運営に関する会議回数（定例会及び必要に応じ開催した会議回数）	回	11	16	12
成果状況				
評価委員会による年度計画評価で、計画を下回る小項目数（C及びD）	項目	2	2	0
さんむ医療センターへの繰出金	千円	330,511	361,118	662,950

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	330,511	0	0	0	0	330,511	
05年度 実績	361,118	0	0	0	0	361,118	
06年度 当初	662,950	0	0	0	19,500	643,450	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 令和5年度さんむ医療センター評価委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、通常開催できました。年度計画評価で、計画を下回る小項目数は2項目でした。
 < 原因 >
 分娩受け入れを休止していること及び病院ボランティア等の地域住民との連携が不足しているとの評価によるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
かかりつけ医を持っている市民割合	%		64.9	
休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	%		63.5	

事務事業名 医療機関価格高騰対策支援給付金支給事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	06	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	令和 04 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2221

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内医療機関

事務事業の内容、やり方、手順

- ・市内医療機関を抽出
- ・対象医療機関へ申請書を送信
- ・郵便等（返信）申請書件請求書を受理
- ・申請内容及び申請に必要な書類の確認
- ・支給決定・支払い処理

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた市内医療機関に対し、給付金を交付することで、医療提供の継続を支援します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
申請件数		40	38	0
成果状況				
交付済み件数		40	38	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	23,902	0	0	0	0	23,902	
05年度 実績	11,483	0	0	0	0	11,483	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 市内対象医療機関（38機関）から申請があり、全てに支給することができました。
 <原因>
 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、市内医療機関に対し、医療提供の持続を支援する必要があります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
かかりつけ医を持っている市民割合	%		64.9	
休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	%		63.5	

事務事業名 医療機関食材料費高騰対策支援給付金支給事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進		
基本事業番号	06	基本事業名	医療体制の充実		
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度			事務事業整理番号	2272

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

対象医療機関：さんむ医療センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

病院給食の委託単価が公定価格を上回る状況であるため、昨今の食材料費の高騰に対する支援を行います。

事務事業の内容、やり方、手順

本事業は、医療機関（保険医療機関に限る。）への食材料費高騰に対する支援事業です。入院時の食費の基準が、長年据え置かれ、介護保険とも差が生じていることを踏まえ、令和5年度中の食材料費の高騰に対し医療機関を支援します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
申請件数			1	0
成果状況				
病床数			199	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	2,547	0	0	0	0	2,547	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 対象医療機関（さんむ医療センター）から申請があり、病床数に対して支給することが出来ました。
 < 原因 >
 病院給食にかかる食材料費の高騰によるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
かかりつけ医を持っている市民割合	%		64.9	
休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	%		63.5	

事務事業名 後期高齢者重症化予防等事業

保健福祉部 高齢者支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	07	基本事業名	健康保険制度の安定的な運営
計画年度	令和 05 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2212

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

75歳以上の市民（一部、65歳以上の市民を含む。）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市が介護予防と疾病予防・重症化予防を一体的に実施することで、健康寿命の延伸が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

後期高齢者の保健事業について、千葉県後期高齢者医療広域連合から委託を受けながら、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するものです。
具体的には、事業全体の企画・調整等を行う専従の保健師等を配置し、高齢者に対する個別の支援（ハイリスクアプローチ）と、通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
個別的支援取組数			4	6
関与した通いの場数（延べ）			140	215
成果状況				
個別的支援実施者数			394	400
関与した通いの場参加者数（延べ）			2,709	4,277

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	618	0	0	0	0	618	
06年度 当初	679	0	0	0	679	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和5年度に開始した事業であり、前年度との比較はできませんが、個別的支援実施者数、関与した通いの場の参加者数とも令和5年度当初の予定を大きく上回っています。
< 原因 > 令和4年度から庁内外の関係者と緊密に連携し事業計画を立案したことから、令和5年度は年度当初から円滑に事業を実施することができました。また、通いの場の参加者においては、健康づくりへの関心が高いことも原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
1人当たりの国民健康保険総医療費	円		378,784	
1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費	円		788,869	
特定疾病療養受療証新規交付数	人		10	

事務事業名 幼稚園施設整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1381

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼稚園（1園）の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

園児が安心できる教育環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

建物（設備や遊具）の故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修を行う。
また、軽微な施設整備を行う。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
修繕及び工事件数	件	1	14	1
修繕及び工事費	千円	404	32,174	10,426
成果状況				
園児一人当たりの経費	円	4,749	480,216	104,260

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,426	0	0	0	0	1,426	
05年度 実績	34,243	8,407	0	12,600	9,851	3,385	
06年度 当初	15,834	3,650	0	6,900	0	5,284	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和4年度に比べ、園児一人当たりの経費が475,467円増加しました。
< 原因 >
令和5年度実施工事は大規模修繕工事であったため、経費が大幅に増額となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%		77.7	
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%		96.3	
一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	件		14	

事務事業名 こども園施設整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1878

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

こども園（5園）施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

園児が安心できる環境になっています。

事務事業の内容、やり方、手順

建物（設備や遊具）の故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修を行う。
また、軽微な施設整備を行う。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
修繕及び工事件数	件	13	113	25
修繕及び工事費	千円	9,890	70,514	88,207
成果状況				
園児一人あたりの経費	円	16,734	122,634	160,376

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	17,552	0	0	0	1,976	15,576	
05年度 実績	75,867	0	0	38,800	13,513	23,554	
06年度 当初	105,498	29,146	0	56,900	3,573	15,879	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度に比べ、園児一人あたりの経費が105,900円増額しました。
<原因>
なんごうこども園やおおひらこども園でのトイレ等改修工事やその他の修繕工事により、大幅に工事費が上昇しました。施設の築年数が経っているため、今後も工事費が上昇することが見込まれます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%		77.7	
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%		96.3	
一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	件		14	

事務事業名 保育所価格高騰重点支援給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2269

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

物価高騰の影響を受けている市内私立保育所

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食の提供が確保されるよう支援することを目的としています。

事務事業の内容、やり方、手順

・予算の範囲内において山武市保育所価格高騰重点支援給付金を支給します。
 ・給付金額は、対象園児数×給食費×物価上昇率×12月で算出します。
 ・給付金の支給を受けようとする保育所は、山武市保育所価格高騰重点支援給付金申請書（兼請求書）により申請します。
 ・市長は、申請内容を審査し、適正である場合は、山武市保育所価格高騰重点支援給付金を支給します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
支給決定保育所数			3	0
成果状況				
支給金額			1,674,720	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	1,675	0	0	0	0	1,675	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 物価高騰の影響を受けている市内私立保育所3園に対し、対象児童数や給食費に応じて給付金を支給することができており、順調です。
 < 原因 >
 物価高騰の影響を受けている市内私立保育所3園に対し、事業内容等について適切な周知ができたためと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%		77.7	
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%		96.3	
一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	件		14	

事務事業名 子育て世代包括支援センター等事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て不安の軽減
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2147

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<子育て世代包括支援センター事業>
市内の妊産婦及び母子（未就学児）
<乳児全戸訪問事業>
生後4か月までの乳児のいる家庭（里帰りを含む）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

育児の孤立化を防ぐため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を行うことで、育児不安が軽減され、安心して出産、育児に望めます。

事務事業の内容、やり方、手順

<子育て世代包括支援センター事業>内容：母子保健型。専任と兼任の保健師等を配置し、専門的な見地から母子保健に関する相談支援を実施します。妊娠届出者の全数面接を行い、妊婦支援台帳、支援プランを作成します。出生後も全数に支援プランを作成し、必要に応じ見直しを行います。心身の不調や育児不安があるなど手厚い支援を要する方は、要保護児童対策協議会のネットワークで対応します。<乳児全戸訪問事業>内容：すべての乳児のいる家庭を助産師、保健師が訪問し、子育てに関する情報提供、養育環境等の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言等の援助を行います。<出産・子育て応援給付金>妊娠届出及び出生届出の面接後に申請のあった方に対し、それぞれ5万円を給付します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
妊婦支援者数		193	193	200
乳児全戸訪問実施者数		157	147	160
成果状況				
妊婦支援実施率		100	100	100
乳児全戸訪問実施率		93.5	98.7	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	25,297	17,202	4,003	0	0	4,092	
05年度 実績	18,334	11,872	3,188	0	0	3,274	
06年度 当初	20,724	13,450	3,649	0	0	3,625	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
妊娠届出数は193名で前年度と同数で、全数にケアプランを提案し支援しました。乳児全戸訪問率98.7%で前年度と比較すると5.2ポイント増加しました。
<原因>
乳児全戸訪問は、訪問拒否家庭1件を子育て世代包括支援センター来所により面接し、外国滞在中の1件を除き全数実施しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合	%		90	
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	%		90.2	
各種子育て相談延べ件数	件		6,784	

事務事業名 子ども医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	平成 15 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 428

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校3年生までの子ども
中学校3年生までの子どもの保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子どもの保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用の全部又は一部を助成します。
対象は中学3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用の医療費及び保険調剤とし、令和元年8月診療分からは個人負担は無料となります。
子どもの出生または転入（中学校3年生まで）により、山武市民となった子どもの保護者から、子ども医療費助成申請書に加入保険証（写し）を添付した申請を受け、受給券を発行します。（毎年、資格要件の有無を確認し、8月1日に切り替えとなります。）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
子ども医療費助成対象者数	人	4,481	4,223	5,301
成果状況				
医療費助成額	千円	110,674	127,129	128,510

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	114,467	0	29,290	0	633	84,544	
05年度 実績	132,331	0	34,544	0	940	96,847	
06年度 当初	132,166	0	30,976	0	684	100,506	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
医療費助成額が前年度より16,455千円増加し、順調です。
< 原因 >
前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染予防を背景とした、医療機関の受診控えが解消してきていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円		279,742	
ひとり親家庭の自立率	%		12.6	

事務事業名 高校生等医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	平成 26 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1816

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生等
高校生等の保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

高校生等の保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、就学・子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの者の保険診療分の医療費を助成します。
（手順）
保護者は、助成制度を利用するための登録申請をします。保険受診をしたときは、医療機関で通常の支払いをし、領収書を受領します。
医療費助成申請書に領収書等の必要書類を添付し、市に申請します。
市で申請書類を審査し、助成金を登録口座へ振り込みます。
令和5年8月の制度改正より、高校生等医療費助成対象者に対して受給券を発行し、現物給付を行っています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
資格登録人数	人	804	991	0
医療費助成件数	件	4,489	7,741	0
成果状況				
資格登録率	%	72	89	0
助成実人数	人	519	533	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	9,156	0	0	0	0	9,156	
05年度 実績	18,371	0	0	0	6,669	11,702	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
資格登録人数、資格登録率、医療費助成件数が増加し、ほぼ順調です。
<原因>
令和5年8月の制度改正による現物給付化により増加したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円		279,742	
ひとり親家庭の自立率	%		12.6	

事務事業名 子育て世帯応援給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	04	施策名	子育ての支援		
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助		
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度			事務事業整理番号	2106

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

未就学（平成29年4月2日から令和6年2月29日生）の児童を養育している方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

給付金支給要件を満たす対象者に支給申込みを実施し、対象児童1人につき1万円を支給します。
対象者が公務員等の場合は、対象者からの申請により対象児童1人につき1万円を支給します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
公務員以外の児童手当受給者		2,380	900	0
公務員の児童手当受給者		245	230	0
成果状況				
給付金執行率		99.4	98.1	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	66,401	0	0	0	0	66,401	
05年度 実績	14,803	0	0	0	0	14,803	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
辞退された方は0件です。児童28人が未申請でしたが、執行率は98.1%です。
<原因>
公務員以外の児童手当受給者へ積極支給を行ったことにより、高い執行率となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円		279,742	
ひとり親家庭の自立率	%		12.6	

事務事業名 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 2168

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

18歳（障害がある場合20歳）までの児童を養育する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯及びひとり親家庭の経済的負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

ひとり親の子育て世帯分として、令和5年3月分の児童扶養手当受給者に申請不要のプッシュ型で、児童1人当たり5万円を支給しました。
令和5年3月以降の児童手当受給者で令和4年度の住民税が非課税の子育て世帯に申請不要のプッシュ型で児童1人当たり5万円の給付金を支給しました。高校生相当の年齢児童を養育し、令和4年度の住民税が非課税の子育て世帯に対しては申請により給付金を支給しました。
その他、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、それぞれの所得要件等を満たす子育て世帯に対し、申請により給付金を支給しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
給付金支給世帯数		643	630	1
給付金支給児童数		1,038	1,058	1
成果状況				
給付金執行率		99.33	97.96	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	66,870	53,920	0	0	0	12,950	
05年度 実績	60,852	54,849	0	0	0	6,003	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
辞退された方は、0件です。未申請の児童は22人です。
<原因>
児童手当受給者へ積極支給することにより、高い執行率となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円		279,742	
ひとり親家庭の自立率	%		12.6	

事務事業名 子どもの成長応援臨時給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	04	施策名	子育ての支援		
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助		
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度			事務事業整理番号	2236

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校1年生から中学校3年生の児童を養育している方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

物価高騰の影響を踏まえ、習い事や体験活動等に係る経費の負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

給付金支給要件を満たす対象者に支給申込みを実施し、対象児童1人につき1万円を支給します。
対象者が公務員等の場合は、対象者からの申請により対象児童1人につき1万円を支給します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
公務員以外の児童手当受給者			1,706	0
公務員の児童手当受給者			192	0
成果状況				
給付金執行率			98.7	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	29,542	0	29,542	0	0	0	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
辞退された方は、0件です。児童38人が未申請でしたが、執行率は98.7%です。
<原因>
公務員以外の児童手当受給者へ積極支給を行ったことにより、高い執行率となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円		279,742	
ひとり親家庭の自立率	%		12.6	

事務事業名 子育て世帯生活応援特別給付金支給事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	04	施策名	子育ての支援		
基本事業番号	04	基本事業名	子育て家庭への援助		
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	2265

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

18歳までの児童を養育している方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

給付金支給要件を満たす対象者に支給申込みを実施し、対象児童1人につき2万円を支給します。対象者が、高校生年代のみの児童を養育している場合は、対象者からの申請により対象児童1人につき2万円を支給します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
児童手当等受給者			2,522	34
高校生年代のみの児童の養育者			615	615
成果状況				
給付金執行率			82.1	95

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	92,739	0	0	0	0	92,739	
06年度 当初							(20,144)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和6年2月児童手当等支給対象者等へ積極支給を行いました。辞退された方は、0件です。
 <原因>
 積極支給のみを行ったため、82.1%の執行率となっています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	円		279,742	
ひとり親家庭の自立率	%		12.6	

事務事業名 三世代同居等支援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援
計画年度	令和 02 年度 ~	年度	事務事業整理番号 2081

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

三世代同居または近居をするために市内へ転入した者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

三世代同居または近居をする方が増加し、子育てしやすい環境が整うとともに、若い世代の山武市への移住定住促進が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

三世代同居または近居をするために市内へ転入した方に対し、住宅取得等にかかる費用を補助しました。
 <補助内容>
 住宅の購入、新築、建替え、増築又はリフォーム工事のいずれかに要した費用の2分1の額（上限 75万円）を補助。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
三世代同居等支援補助金申請受付件数	件	18	10	17
成果状況				
三世代同居等支援補助金を活用した転入者数	人	60	31	51
三世代同居等支援補助金交付額	千円	13,500	7,500	12,750

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	13,500	0	0	0	0	13,500	
05年度 実績	7,500	0	0	0	6,750	750	
06年度 当初	12,750	0	0	1,500	0	11,250	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 補助金を活用した転入者数は、前年度と比較して29人減少しており低下の状況です。
 <原因>
 令和4年度から新型コロナウイルス感染症の影響による住宅工事の遅延が解消されていたため、令和5年度は前年度分の申請見込みが次年度へずれることがなかったため減少したと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人		160	
結婚する意欲のある独身者の割合	%		80.7	

事務事業名 結婚応援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援
計画年度	令和 04 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2185

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

結婚や家族形成への意欲や、それを応援する気運が高まり、婚姻件数や未婚率が改善し、次世代育成が進みます。

事務事業の内容、やり方、手順

結婚、家族形成へのイメージアップのための啓発活動や、結婚希望の実現に向けた後押しに取り組みました。

【令和5年度実績】

・山武市恋活イベント恋するさんむの実施 2回

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
取組件数		3	2	1
成果状況				
婚姻件数		99	116	110
セミナー、イベント参加者数		26	38	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	613	0	251	0	0	362	
05年度 実績	456	0	300	0	0	156	
06年度 当初	556	0	186	0	0	370	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度と比較して、婚姻届受理件数が17件の増加、セミナー・イベントの参加者数が12人増加しており順調です。
 < 原因 > 婚姻届受理件数については、全国的に減少傾向の中、当市では30件程度の幅の中で増加と減少を繰返しています。令和4年度は99件と令和3年度に比べ減少していたことから、令和4年度に婚姻を検討していたものの婚姻届を提出するにいたらなかった方々が、令和5年度に婚姻届を提出したため増加したのではないかと考えられます。セミナー・イベントの参加者数が増加したのは、開催回数を年1回から年2回に変更したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人		160	
結婚する意欲のある独身者の割合	%		80.7	

事務事業名 子ども・子育て支援事業計画推進事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1756

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の児童及び保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的確保、地域の子ども・子育て支援の充実を図り、子ども達が健やかに成長していく環境が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

第2期子ども・子育て支援事業計画の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び当該計画の実施状況を子ども・子育て会議において調査審議しました。
子育てアプリの運用により子育て支援事業を推進。
次期計画（計画期間：令和7～11年度）を策定するにあたり、子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
庁内会議等の開催回数	回	0	1	2
（地方版）子ども・子育て会議開催回数（回）	回	2	2	4
成果状況				
スケジュールに対する進捗率	%	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	12,304	0	0	0	0	12,304	
05年度 実績	2,993	0	0	0	0	2,993	
06年度 当初	806	0	0	0	0	806	(6,512)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
子ども・子育て会議を2回開催しました。進捗率は100%で順調です。
<原因>
計画的に子ども・子育て会議を開催することで、適正な進捗管理を行えています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値

事務事業名 生活困窮者自立相談支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1823

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活困窮者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

生活困窮者からの相談を受け、生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握、ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定、自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう関係機関との連絡調整を実施します。上記の業務を社会福祉協議会への委託により実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
相談件数	件	214	171	145
成果状況				
相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合	%	9.3	12.8	15

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	22,483	13,600	1,842	0	0	7,041	
05年度 実績	25,006	14,526	1,979	0	1,862	6,639	
06年度 当初	24,412	10,369	0	0	0	14,043	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 生活困窮者からの新規相談件数は令和4年度より43件減少し、生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合は3.5%増加しました。
 < 原因 >
 新型コロナウイルス感染症の5類移行により求人数等が回復傾向にあるため、相談件数は減少しました。支援実施件数割合の増は「家計改善事業」や「ひきこもり支援事業」等の支援事業を増やしたことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%		21.3	

事務事業名 価格高騰緊急支援給付金給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	令和 04 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 2217

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・令和5年度住民税非課税世帯
- ・予期せず家計が急変し、住民税非課税世帯と同程度の水準と認められる世帯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

エネルギー・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（令和5年度の市町村民税均等割が非課税の世帯及び家計急変世帯）に対し、物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金として、1世帯あたり3万円を給付します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・令和5年6月1日時点での世帯状況を確認し、令和5年度住民税世帯に対して確認書を発送し、迅速な給付を行います。確認書の返送から4週間以内に口座振込により支給を行います。
- ・令和5年1月以降に予期せず家計が急変した世帯については、申請により給付を行います。
- ・申請期限は令和5年10月31日までです。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
申請方式件数及び確認書送付件数		5,967	5,758	0
成果状況				
給付件数割合		94.2	94.3	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	306,283	306,283	0	0	0	0	
05年度 実績	178,666	0	0	0	0	178,666	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和5年度の申請及び確認書送付件数は5,758件で209件減少しており、給付割合は94.3%で微増となっております。
< 原因 >
エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、生活に困窮している市民が多いことから、給付割合が多かったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%		21.3	

事務事業名 物価高騰支援給付金給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	令和 05 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 2263

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・令和5年度住民税非課税世帯
- ・予期せず家計が急変し、住民税非課税世帯と同程度の水準と認められる世帯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

「デフレ脱却脱却のための総合経済対策」において、「重点支援地方交付金」について低所得者世帯支援枠を追加的に拡大することが11月2日に閣議決定されたことにより、住民税非課税世帯に対して7万円の給付金を支給します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・令和5年12月1日時点での世帯状況を確認し、令和5年度住民税非課税世帯に対して、通知書を発送し、プッシュ型で迅速な給付を行います。価格高騰緊急支給給付金事業（3万円）で支給した口座に振り込みます。価格高騰緊急支給給付事業（3万円）で給付金を支給していない世帯には確認書を送付します。確認書返送から4週間以内に口座振込により支給します。
- ・申請期限は令和6年2月28日までです。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
支給のお知らせ及び確認書等の送付総数			5,695	0
成果状況				
給付件数割合			97.5	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	399,303	0	0	0	0	399,303	
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和5年度からの事業です。令和5年度の支給のお知らせ及び確認書等の送付総数は5,695件で、給付件数割合は97.5%となりました。
 <原因>
 価格高騰に伴い、生活困窮者が増加していることにより、給付件数割合が多かったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%		21.3	

事務事業名 物価高騰支援給付金（均等割のみ・こども加算）給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2274

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・令和5年度住民税均等割のみ課税世帯
- ・令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯のうち18歳以下の子どもを扶養する世帯

事務事業の内容、やり方、手順

- 【均等割のみ課税】
 - ・令和5年12月1日時点での世帯状況を確認し、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対して確認書を発送し、迅速な給付を行います。確認書の返送から4週間以内に口座振込に支給を行います。
- 【住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯子加算】
 - ・令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯のうち18歳以下の子どもを扶養する世帯に対して、支給通知を送付し、プッシュ型で迅速な給付を行います。物価高騰支援給付金給付事業（7万円、10万円）で支給した口座に振り込みます。物価高騰支援給付金給付事業（7万円、10万円）で給付金を支給していない世帯には確認書を送付します。確認書返送から4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

「デフレ脱却のための総合経済対策」において、低所得者支援を補足する給付についての制度概要が令和5年12月14日に示されたことにより、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用して給付金を支給します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
支給のお知らせ及び確認書等の送付総数			1,718	0
成果状況				
給付件数割合			96.6	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	141,441	0	0	0	0	141,441	
06年度 当初							(68,296)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和5年度からの事業です。支給のお知らせ及び確認書等の送付総数は1717件、給付件数割合は96.6%でした。
 <原因>
 物価高騰に伴い、生活困窮者が増加していることにより、給付件数割合が高かったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	%		21.3	

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	302

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護法に基づいた最低限度が保障された生活を送り、自立が可能となります。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長しました。

<保護の種類>

生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業扶助、葬祭扶助、出産扶助、就労自立給付金、保護施設事務費及び委託事務費

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
生活保護申請件数	件	119	88	91
生活保護開始件数	件	77	69	71
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	380	388	400
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数		9	6	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	680,190	511,883	10,630	0	7,369	150,308	
05年度 実績	745,597	523,630	5,365	0	9,830	206,772	
06年度 当初	731,345	543,858	0	0	6,200	181,287	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
受給世帯は昨年度から8件の増加です。また、生活保護廃止世帯のうち、自立によるものは6件となりました。

<原因>
預貯金の減少を理由とする高齢者世帯の保護開始が多く、受給世帯の減少は見込んでいません。また、現役世帯で稼働収入を得ている保護受給世帯についても、パートタイム勤務が多いことから経済的な自立には至っていません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
自立による生活保護廃止件数	件		6	
生活保護率	%		9.65	

事務事業名 小学校用備品整備事業(振興)

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 769

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内各小学校児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

充実した学校生活を送ることができるよう、適切な備品が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

各小学校要望を取りまとめ、備品を一括購入します。各小学校では、必要な備品リストから充実度・優先度を勘案し備品要望します。予算額は、1校当たり150千円に、1クラス当たり20千円を加算した額で計上しています。

学校数11校×150千円=1,650千円
クラス数78クラス×20千円=1,560千円
但し、学校の要望により管理と振興で調整を行います。

入札案件 : 4件
随意契約案件 : 12件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
小学校振興用備品入札、随意契約件数	件	6	16	20
成果状況				
小学校振興用備品購入額	千円	2,830	2,391	4,254

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,829	0	0	0	0	2,829	
05年度 実績	29,186	0	0	0	0	29,186	
06年度 当初	8,928	0	0	0	0	8,928	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
学校要望に沿う備品（振興）の一部について、一括購入したことで、多種にわたる備品を購入でき、教育環境の充実を実現することができました。また、令和4年度と比較し、事業費が26,357千円の増額となりました。
<原因>
経年劣化等で部品を交換できない教材備品等を買替えたほか、小学校教科書改訂に伴う教員用「指導書・教科書」を購入したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%		55.9	
学力の定着が見られる生徒の割合	%		49.3	
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%		41.7	

事務事業名 外国人英会話授業支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 929

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ネイティブスピーカーであるALTと授業を行うことにより、英語の発音を含め、外国の文化や風習など異文化に直接触れることができ、異文化理解や国際感覚を持った子供たちが育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

ネイティブスピーカーであるALT（外国語指導助手）を小・中学校に配置し、中学校の英語授業や小学校の総合的な学習の時間で行われる英語活動で日本人教師とともに授業を行います。
各小・中学校とも最低限週1回配置します。
【手順】
・3月 ALT配置校の決定
・4月 ALTの授業開始
ALTの勤務状況調査開始（以後毎月）
・2月 ALTとの授業の成果等についてアンケート調査を実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
ALTを配置した学校数	校	15	15	15
成果状況 児童・生徒が『ALTの授業・英語活動を楽しみにしている』と回答した教職員の割合	%	83.9	93.3	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	28,261	0	0	0	0	28,261	
05年度 実績	28,908	0	0	0	26,017	2,891	
06年度 当初	29,014	0	0	0	0	29,014	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 市内すべての小中学校にALTが計画的に配置されています。学習意欲が向上している児童生徒数の割合は令和4年度に比べ9.4ポイント増加しました。高い水準を保っており順調です。
<原因> 市内小中学校にALTを配置し、児童生徒と授業外の活動でもコミュニケーションを積極的に図っています。また、ALTと教職員との授業前の打合せの時間を確保し、連携がとれた授業展開ができていることが学習意欲の向上につながっていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%		55.9	
学力の定着が見られる生徒の割合	%		49.3	
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%		41.7	

事務事業名 英語教育推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1903

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中学生

事務事業の内容、やり方、手順

市内中学生 1 名につき 1 回、英検受験料の補助（全額）を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

英検取得により英語力が向上し、グローバル人材が育成されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
英検を実施した学校数	校	4	4	4
成果状況				
中学校卒業時の英語検定 3 級以上取得割合	%	40.1	41.7	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,598	0	0	0	3,598	0	
05年度 実績	3,285	0	0	0	3,285	0	
06年度 当初	3,588	0	0	0	3,588	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 中学校 3 年生の 3 級以上の取得割合が令和 4 年度よりも、1.6ポイント増加しています。
 < 原因 >
 市内中学生に英語検定 3 回中 1 回の全額補助を行うこと、英語検定対策講座を夏季・冬季の 2 回実施することが定着しています。また、一人一台端末を活用し個別に対策に取り組んだことが成果としてあらわれています。令和 4 年度、2 年生終了時に 3 級以上の取得率が高かったことも影響していると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%		55.9	
学力の定着が見られる生徒の割合	%		49.3	
中学校卒業時に英語検定 3 級以上を取得している生徒の割合	%		41.7	

事務事業名 学力向上支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2071

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童一人一人のニーズに対応した学習環境が整っています。「やる気を育てる学習支援」により、主体的に学びあう児童が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

・学力向上推進指定校（小学校4校）を決定し、小学校3・4年生の算数を対象として、授業内でティームティミングによる学力向上に特化した少人数指導を実施します。
週5日 1学期40日、2学期40日、3学期30日
・教員のスキルアップを図るため、授業で教員等にアドバイスや相談等の支援を実施します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
支援学校数	校	4	4	3
成果状況				
勉強が好きと回答した児童生徒の割合	%	77	74.8	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,075	0	0	0	0	2,075	
05年度 実績	1,943	0	0	0	1,748	195	
06年度 当初	1,949	0	0	0	0	1,949	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
「勉強（算数）が好き」と回答した児童の割合は、令和4年度と比較し2.2ポイント減となりました。
<原因>
3年生では算数ができる喜びを感じる事が肯定的な回答につながりますが、4年生ではできる喜びを感じる割合が減少しています。4年生の学習は学年の後半になると難しくなり、「好きではない」と回答する児童が増えてきたことで、苦手意識が出てきたものと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学力の定着が見られる児童の割合	%		55.9	
学力の定着が見られる生徒の割合	%		49.3	
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%		41.7	

事務事業名 ICTサポート事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1787

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内小中学校児童・生徒・教職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣。
 派遣回数
 平成26年度：7回×19校 令和2年度：16回×17校
 平成27年度：40回×19校 令和3年度：33回×16校
 平成28年度：29回×19校 令和4年度：33回×15校
 平成29年度：28回×19校 令和5年度：30回×15校
 平成30年度：18回×19校 令和6年度：33回×15校
 令和元年度：16回×17校 令和7年度：33回×15校
 以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
教員のICT活用を支援する外部人材の派遣回数	回	33	30	24
成果状況				
ICTを活用した授業を実施した教員の割合	%	82	86	87

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	13,140	0	0	0	0	13,140	
05年度 実績	13,740	624	0	0	0	13,116	
06年度 当初	12,000	0	0	0	0	12,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 前年度より機器を活用した教員の割合が増加しました。
 <原因>
 教職員の端末活用が多くなった為です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合	%		71	
ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合	%		59.3	
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%		74.7	

事務事業名 通学バス運行事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備
計画年度	平成 30 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1972

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童生徒

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校統合に伴う遠距離通学児童・生徒の負担軽減及び安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校統合により遠距離通学となる児童生徒を対象に通学バスを運行します。

【松尾小学校】平成31年4月より運行開始
対象：旧豊岡小学校区の児童。車両：マイクロバス2台

【日向小学校】令和3年4月より運行開始
対象：統合により従来より通学距離が遠距離となり、かつ概ね通学距離が2km以上の児童。車両：路線型大型バス3台・同中型バス1台

【山武望洋中学校】令和4年4月より運行開始
対象：旧蓮沼中学校区の生徒。車両：路線型大型バス2台

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
利用児童生徒数		314	300	298
運行日数		267	267	267
成果状況				
運行休止により、通学が不可能となった日数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	62,635	12,539	0	0	0	50,096	
05年度 実績	62,870	12,200	0	0	0	50,670	
06年度 当初	64,787	10,346	0	16,600	0	37,841	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
車両の不具合や事故等により、登下校が不可能になった日数は0日であり、順調です。
<原因>
学校、委託業者と連携を図りながら安全運行、管理が出来たことによるものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件		0	
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件		0	
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校		0	

事務事業名 小学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2011

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内11小学校に通う児童や教職員、保護者等になります。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習等環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等で起きた故障、損傷、経年による老朽箇所等の設計や改修工事等を行いました。
 成東小：受水槽改修工事(含工事監理)
 南郷小：東側校舎外壁等改修工事(含工事監理)
 山武北小：エレベーター改修工事(令和5～6年度：繰越明許費)
 緑海小：校舎棟大規模改修工事実施設計業務委託
 学校施設環境改善交付金等を活用し設計や工事、工事監理を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
修繕及び工事件数	件	1	3	1
修繕及び工事費	千円	31,026	68,795	33,220
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	17,218	39,446	20,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	33,394	0	0	24,700	8,336	358	
05年度 実績	75,692	0	0	57,400	18,292	0	
06年度 当初	36,520	0	0	32,800	3,720	0	(180,172)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 山武北小学校エレベーター改修工事を繰越明許費とし令和5～6年度にて実施、他の改修工事等は計画的に完了しているため、順調です。
 <原因>
 作業人員不足や部品調達に期間を要したため、繰越明許費とし工期を確保しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件		0	
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件		0	
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校		0	

事務事業名 成東学校給食センター施設管理運営事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1026

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

給食受給者
受給者の保護者等
成東学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食センターを運営します。
<調理・衛生関係>
・栄養士の指導による調理・衛生計画
・市と委託事業者との打ち合わせ（衛生管理含む）
・給食の調理、配送、回収、洗浄、保管
<給食費関係>
・給食申込書等によるデータ作成及び修正
・納付書発行・口座振替の依頼
・督促状等の発行
・臨戸徴収の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
給食数（成東センター調理分）	食	368,609	323,494	360,570
臨戸徴収件数	件	49	83	60
成果状況				
給食を支給できなかった日数	回	0	0	0
市全体の給食費収納率	%	98.98	98.4	99

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	243,575	0	926	0	101,612	141,037	
05年度 実績	240,802	0	3,566	0	92,883	144,353	
06年度 当初	246,618	0	3,629	0	91,384	151,605	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
収納率は98.4%で前年度に対し0.58ポイント低下しました。給食を支給できなかった日数は0日であり順調です。
<原因>
給食費の収納率向上のため、電話催告及び臨戸徴収を行い横ばいを維持しています。給食の安定供給のため、計画的な修繕や定期点検の実施により施設を良好な状態に維持するとともに、プロポーザル選定により適切な業者を選定し工事期間中は代替給食を提供しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件		0	
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件		0	
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校		0	

事務事業名 学校給食センター施設整備事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 08 年度			事務事業整理番号	1981

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東学校給食センター、山武学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

衛生的かつ安全な学校給食が安定的に供給されます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東学校給食センターおよび山武学校給食センターを統合し、現在の学校給食衛生基準にあった給食センターを整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
受託事業者との打合せ回数		17	12	12
成果状況				
進捗率		15	50	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	20,134	0	0	11,600	0	8,534	19,613
05年度 実績	114,583	25,046	0	20,000	7,008	62,529	28,829
06年度 当初	1,945,127	243,987	0	1,600,900	97,128	3,112	(7,253)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和5年度に計画した事業（成東センター近隣家屋調査（事前）、駐車場用地購入、物件移転補償、成東センター解体工事）は予定どおり完了し、進捗率は50%で順調です。
< 原因 >
委託業者と、定期的に綿密な進行管理を行ったこと、土地収用法に基づく事業認定の手続が予定どおり進んだことが順調な業務進行につながったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件		0	
安全な給食を確実に提供できなかった件数	件		0	
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校		0	

事務事業名 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進
計画年度	平成 27 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1913

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼・小・中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・学習の選択肢が広がります。
- ・子どもたちとシニア世代の相互連携による教えあい、学びあいの場が構築され、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

NPO法人との協働により学校支援センターを運営し、学校支援を実施します。
 【平成28年度】調査研究員によりニーズ調査、実証事業を実施。NPO法人 教育サポートGAA設立
 【平成29～令和元年度】教育に関する各種調査研究を実施。学校支援を実施
 【令和2年度】学校支援センター試行と並行し、運用方法の調査研究。コミュニティ・スクールの導入推進。（仮称）子どもトータルサポートシステム施行準備。学校支援を継続。
 【令和3年度～】前年度調査研究の結果を受け、学校支援センターを本格稼働。学校支援を継続

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
調査研究のための会議実施数	回	47	50	47
成果状況				
学校支援実施回数	件	811	758	804

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	8,010	0	478	0	7,532	0	
05年度 実績	8,016	0	461	0	7,490	65	
06年度 当初	8,595	0	461	0	8,134	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 学校支援実施回数は、令和4年度より53回減少しました。
 < 原因 >
 学校からの要望内容に変化があり、1回あたり1～2時間の学習支援等よりも、1回あたり2～3時間の日本語学習支援の要望が増えたことが原因と考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人		137	
学校支援活動に協力した市民数	人		123	

事務事業名 成東文化会館施設管理事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
成東文化会館利用者

事務事業の内容、やり方、手順

・施設概要 ホール（368席）、楽屋1、楽屋2、会議室1（37人）、会議室2（27人）、視聴覚室（椅子のみ126人）及び付属設備を有償で貸し出しています（ただし山武市内の公共機関については使用料免除）。また、建物内に成東図書館を有しています。
ホールは1年先、会議室等は6ヶ月先まで電話にて予約を受付しています。ホールは使用日の7日前、会議室等は当日までに申請書を会館窓口へ提出し使用料を納付します。
・月曜日（祝日の場合は翌々日）、祝祭日の翌日及び年末年始を除き、9：00～21：30まで利用することができます。
・夜間警備や空調設備、浄化槽設備、舞台機構等の保守点検、清掃業務等を業者に委託し施設の維持管理を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域文化活動の拠点として、成東文化会館のぎくプラザが常時正常に稼働し、安心して利用できます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
開館日数	日	293	294	292
業務委託及び借上件数	件	27	27	27
成果状況				
施設貸出数	件	741	789	900
施設苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	39,609	0	0	0	2,704	36,905	
05年度 実績	48,272	0	0	7,500	1,975	38,797	
06年度 当初	43,114	0	0	0	3,574	39,540	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
施設貸出数は、令和4年度から48件増加しており、事業成果は向上しています。また、施設苦情件数は令和4年度に引き続き0件であり、順調です。
<原因>
新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことにより、貸出数が回復してきていることが要因と考えられます。また、施設苦情件数が0件であったことは、日常管理に務めた結果と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人		218,185	
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%		6.5	
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円		28,356	

事務事業名 成東中央公民館施設管理運営事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1055	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・成東中央公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設を安全に利用していただける状態にします。

事務事業の内容、やり方、手順

施設の概要：1F 第1会議室、2F 視聴覚室、第1・2研修室、第2・第3・第4会議室、3F 講堂
 利用料金(1時間当たり)：講堂は市内550円・市外1,100円、第1会議室・視聴覚室は市内440円・市外880円、第1・2研修室・第2会議室は市内330円・市外660円、その他は市内220円・市外440円
 休館日：毎週月曜日(但し月曜日が祝日法に規定する休日に当たる場合は、その翌々日)、祝日法に規定する休日の翌日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
 開館時間：午前9時から午後5時(夜間開放日は午後9時半まで)
 受付は直営で対応し、維持管理については業者委託で対応しています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
施設補修件数	件	2	1	1
開館日数	日	293	284	293
成果状況				
不具合発生件数	件	0	1	0
成東中央公民館年間利用者数	人	24,138	23,830	20,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	9,826	0	0	0	793	9,033	
05年度 実績	9,342	0	0	0	795	8,547	
06年度 当初	10,897	0	0	0	905	9,992	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 不具合発生件数は1件で、事務室の一部が傾いたことによるものです。この不具合の修繕工事は完了しております。また、年間利用者数は、前年度に比べ308人減少しました。
 <原因>
 年間利用者数の減少は、上記修繕工事に伴う臨時休館によるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人		218,185	
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%		6.5	
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円		28,356	

事務事業名 松尾公民館施設管理事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進
計画年度	平成 28 年度 ~ 令和 05 年度		事務事業整理番号 1890

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・松尾公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全で安心な施設を維持管理しています。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
 ・スタジオ：A・B・C・D 合計4室
 ・授乳室、男女更衣室、シャワー室、情報コーナー、キッズルーム
 ・駐車場、アーケード、芝生広場及び石庭
 ・開館時間：午前9時から午後9時30分
 ・休館日：毎週月曜日 年末年始（12月29日～1月3日）
 ・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
施設補修件数		3	5	0
開館日数		308	308	308
成果状況				
不具合発生件数		0	0	0
年間スタジオ利用者数		16,112	19,057	16,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	8,089	0	0	0	2,681	5,408	
05年度 実績	7,409	0	0	0	2,873	4,536	
06年度 当初	8,624	0	0	0	2,682	5,942	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 不具合発生件数は0件です。年間スタジオ利用者数は、前年度に比べ、2,945人増加しました。
 < 原因 > 不具合発生件数については、施設の点検、早期修理に努めた結果です。年間スタジオ利用者数の増加については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され利用団体の活動も順調に回復したことにより増加したと思われまます。
 修繕箇所：空調室外機修繕、消火水槽逆流防止弁取付修繕、天井照明交換修繕、網戸修繕、消防用設備修繕

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人		218,185	
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%		6.5	
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円		28,356	

事務事業名 成東中央公民館施設改修事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	平成 30 年度 ~ 令和 06 年度			事務事業整理番号	1975

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・成東中央公民館

事務事業の内容、やり方、手順

施設点検等で指摘のあった箇所について改修工事を実施します

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

利用者が安全で快適に施設を利用することができます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
補修箇所数		0	0	1
成果状況				
不具合発生件数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	902	0	0	0	0	902	
06年度 当初							(19,382)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 エレベーターの老朽化による改修工事を実施できませんでした。
 <原因>
 改修工事を行うために必要な部品の調達及び業務を行う人材が不足しているためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人		218,185	
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%		6.5	
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円		28,356	

事務事業名 松尾図書館施設管理事業

教育部 図書館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	令和 04 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	2189

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾IT保健福祉センター2階施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全で快適な利用ができるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾IT保健福祉センター2階施設の利用者が、安全かつ快適に利用できるよう、必要に応じて修繕を行いながら、施設の整備を行います。

令和4年度
・松尾図書館施設管理事業開始
令和5年度
・空調設備の設計積算業務委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
松尾図書館の修繕件数		7	4	7
成果状況				
松尾図書館の不具合件数		7	4	7
クレーム件数		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	5,954	0	0	0	0	5,954	
05年度 実績	8,766	0	0	2,100	428	6,238	
06年度 当初	247,383	0	0	242,800	0	4,583	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
施設の管理のために5件の業務委託を行いました。不具合は4件発生しましたが、修理実績は100%で順調です。
<原因>
松尾図書館は平成16年に建設され19年が経過しており、経年による老朽化が不具合の発生原因と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人		218,185	
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%		6.5	
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円		28,356	

事務事業名 さんぶの森公園ふれあいセンター施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進		
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	2197

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森ふれあいセンター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんぶの森ふれあいセンターの施設維持を実施するにあたり、改修工事を行ない、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森公園内施設のふれあいセンターについて、施設老朽化により、雨漏りが生じており、設備も老朽化していることから、施設維持として、改修工事を実施します。

R 4 改修工事実施設計業務委託
R 5 ~ 6 改修工事及び工事監理業務委託（繰越明許）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
打合せ回数		2	10	5
成果状況				
改修進捗率		30	60	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,014	0	0	2,700	0	314	
05年度 実績	96	0	0	0	0	96	
06年度 当初							(375,220)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
改修工事については、進捗率が60%となり順調です。
<原因>
スケジュールを組み、監理業者・施工業者と調整を行いながら進めたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人		218,185	
この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	%		6.5	
公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	万円		28,356	

事務事業名 歴史民俗資料館管理運営事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 949

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

歴史民俗資料館・伊藤左千夫生家・茶室「唯真閣」・土蔵。収蔵歴史資料。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

歴史民俗資料館の効率的な維持管理・伊藤左千夫生家等関連施設及び収蔵歴史資料の適切な保存、活用を実施します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・令和5年度は開館日数266日、来館者数は2,840人でした。
- ・開館日に資料館・伊藤左千夫生家の清掃を行いました。
- ・植木について害虫駆除を7月に実施しました。
- ・植木管理として10月に剪定作業を実施しました。
- ・収蔵資料の虫損防止のため燻蒸作業を7月に実施しました。
- ・収蔵歴史資料の整理・保存処理を適宜実施しました。
- ・防犯対策として夜間機械警備を通年実施しました。
- ・空調設備保全のため3月に定期点検を実施しました。
- ・左千夫生家の西側縁側下に破損が生じ10月修繕しました。
- ・左千夫生家の植木が枯死し危険防止のため3月伐採しました

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
年間開館日数	日	286	266	290
成果状況				
年間来館者数	人	2,447	2,840	2,850

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,109	0	0	0	175	2,934	
05年度 実績	3,462	0	0	0	195	3,267	
06年度 当初	3,196	0	0	0	178	3,018	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 令和5年度の入館者数は2,840人で、令和4年度と比較して393人増加し順調です。
 <原因>
 令和4年11月から開始した外壁改修工事が令和5年6月末に終了したため、工事による騒音が無くなり、防音ネットや足場が取り払われたので入館しやすい環境が整ったことと、企画展示の内容がニーズに合致していたことによると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数（全8項目）	項目		3.33	
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人		4,324	

事務事業名 食虫植物群落保護管理事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 953

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

天然記念物「成東・東金食虫植物群落」
見学者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

当群落が、国指定天然記念物として、指定解除や植物が滅失しないよう良好な状態で後世に引き継がれます。また、当群落の案内などの活用を通して文化財普及が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

〔維持管理〕

- ・監視業務 4～8月末迄、毎日。秋季、土日祝日。冬季、週2回監視員を配置しました。
 - ・管理業務 除草、野焼き等9回の植生維持作業を行いました。
 - ・保全調査 水位・水質、気温・地面の湿潤度調査を行いました。
 - ・試験的な保護増殖の取組み（希少種の育成）を行いました。
 - ・保存活用計画策定報告書を概成しました。
- 〔活用〕
- ・春、夏、秋の年間3回の観察会を実施しました。
 - ・夏休み親子教室を実施しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
予算等で計画した保護事業（作業等）の件数	回	9	9	9
見学者への対応	人	1,885	1,681	1,700
成果状況				
予算等で計画した保護事業（作業等）の実施件数	回	9	9	9
見学者数	人	1,885	1,681	1,700

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,917	530	66	0	1,100	221	
05年度 実績	1,829	530	66	0	1,233	0	
06年度 当初	2,493	530	66	0	1,526	371	(469)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
見学者数が令和4年度より204人減少しており、一部遅延しています。
<原因>
新型コロナウイルス感染症蔓延や見学制限解除以降も、団体見学者数の回復が見られないことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数（全8項目）	項目		3.33	
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人		4,324	

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の中学生・高校生
少年海外派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海外で、その自然・文化及び学校生活等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付しました。

研修生は、募集時に提出した作文及び面接により選考します。
・募集定員は15名（ほかに団長・随員各1名）
・事前研修4回、事後研修1回実施
・8月ニュージーランドに出発（期間6泊8日）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
打合せ日数（面接・結団式・研修会）	日	2	10	7
成果状況				
海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合	%	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	387	0	0	0	0	387	
05年度 実績	4,221	0	0	0	3,541	680	
06年度 当初	4,624	0	0	0	500	4,124	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
国際感覚が身についたと思う参加者の割合は、令和4年度と同じ100%で順調です。
<原因>
事前研修、現地でのホームステイや学校生活等の異文化交流を体験したことで広い視野が身につく、海外でのコミュニケーション等について自信ができたものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人		912	

事務事業名 スポーツ協会補助事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	03	施策名	スポーツの振興
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1187

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市スポーツ協会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市スポーツ協会の活動が活性化し、市内のスポーツ推進体制が充実します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市スポーツ協会の運営に要する経費の補助をします。
 1. スポーツ協会の運営：年間事業に係る会議等を行います。
 総会(5月上旬)、理事会(年6回)、役員会(年4回)の開催
 2. 専門部の活動(18専門部)：各種大会出場、会議等を行います。
 前年度の活動実績により助成金を決定(5月)
 事業計画及び予算、助成金交付申請及び請求の受付(6月)
 実績報告(3月)
 3. 支部の活動(11支部)：支部事業、会議等を行います。
 助成金の支給(6月)、1支部5万円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
主催・主管の大会・研修・講習会等に係る会議の開催回数	回	13	12	18
助成金を交付した加盟団体数	団体	18	29	29
成果状況				
主催・主管の大会・研修・講習会等の件数	件	0	1	7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,426	0	0	0	0	2,426	
05年度 実績	3,672	0	0	0	0	3,672	
06年度 当初	4,030	0	0	0	0	4,030	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 市主催・スポーツ協会主管の「エンジョイスポーツin山武2023」が開催され、469名の参加者がありました。また、郡市民体育大会も4年ぶりに開催され、スポーツ協会専門部の多くが参加できたことから事業成果は順調です。
 <原因>
 新型コロナウイルス感染症が5類移行されたことに伴い、スポーツ協会専門部の活動が活発になりコロナ禍前と同様な運営が出来るようになったことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%		7.1	
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%		76.2	

事務事業名 蓮沼スポーツプラザ施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	03	施策名	スポーツの振興
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進
計画年度	令和 01 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1983

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼スポーツプラザ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

蓮沼スポーツプラザの施設維持を実施するにあたり、施設内のエレベーター及び空気調和設備の整備工事、外周工事として屋根における改修工事を行ない、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼スポーツプラザについて、老朽化した施設内のエレベーター及び空気調和設備の整備工事、外周工事として屋根における改修工事を実施します。

- R 4 空気調和設備設計業務委託
屋根改修工事設計業務委託
昇降機準撤去新設工事（繰越明許）
- R 5 空気調和設備工事及び工事監理業務委託
- R 6 屋根改修工事及び工事管理業務委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
打合せ回数	回	3	3	3
成果状況				
改修進捗率	%	30	70	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	4,477	0	0	4,000	0	477	
05年度 実績	135,850	0	0	122,200	13,650	0	18,709
06年度 当初	89,250	0	0	80,300	8,950	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和4年度から繰越をして実施したエレベーター改修工事については完了しました。空気調和設備工事・工事監理業務委託についても完了し、順調です。
<原因>
スケジュールを組み、監理業者・施工業者と調整を行いながら進めたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人		120,787	
公共施設維持管理費（社会体育施設分）	万円		8,742	

事務事業名 成東総合運動公園施設改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	03	施策名	スポーツの振興
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進
計画年度	令和 05 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東総合運動公園テニスコート

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

老朽化しているテニスコートの人工芝について、改修工事を行ない、施設健全維持を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

成東総合運動公園のテニスコートについて、人工芝の老朽化により、施設利用に支障が生じていることから、施設維持として改修工事を実施します。

R 5

テニスコート人工芝改修工事設計業務委託

テニスコート人工芝改修工事

テニスコート人工芝改修工事監理業務委託

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
委託業務発注件数			2	2
工事発注件数			1	0
成果状況				
改修進捗率			100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績	70,482	0	0	0	70,482	0	
06年度 当初	8,956	0	0	7,200	456	1,300	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
成東総合運動公園テニスコート人工芝改修工事については、6面全ての工事が完了し順調です。
<原因>
スケジュールを組み、監理業者と日程を調整しながら実施した結果、年度内に工事が完了しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人		120,787	
公共施設維持管理費（社会体育施設分）	万円		8,742	

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解出来るようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

子ども人権(CAP)に関する子ども向けプログラムおよび、教職員・保護者など大人を対象としたプログラムを市内各園（私立保育園含む）・小学校での実施を働きかけ、実施した際は講師費用等を負担します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
開催回数	回	17	22	13
成果状況				
延べ参加者数	人	257	309	210

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	591	0	0	0	0	591	
05年度 実績	751	0	0	0	0	751	
06年度 当初	500	0	0	0	0	500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 幼稚園・こども園で、子どもワークショップ14回（昨年比3回増）、大人ワークショップを8回（昨年比2回増）実施し、参加者合計が309名（昨年比52名増）でした。小学校の実施は1校ありました。
 < 原因 >
 コロナ禍が明け規制緩和となり、本事業を実施しやすい環境となったことが、開催回数や参加者数の増加につながったと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%		25	
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%		7.5	

事務事業名 人権相談事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	人権擁護の推進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	207

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

人権が侵害されていると感じる人が減少します。

事務事業の内容、やり方、手順

人権擁護委員法に基づき法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談、啓発などの人権擁護活動を行いました。
 ・相談所開設：原則毎月第1～4火曜日、市内4地区
 ・広報：相談所開設日の広報誌への掲載（毎月）
 ・啓発：人権週間中の啓発物品配布
 小学校での人権教室の開催

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
相談所開設回数	回	46	48	47
啓発活動の回数	回	7	1	2
成果状況				
人権が尊重されていると思う市民の割合	%	54.2	56	58.5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	328	0	0	0	0	328	
05年度 実績	316	0	0	0	0	316	
06年度 当初	331	0	0	0	0	331	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 人権が尊重されていると思う市民の割合は、前年度より1.8ポイント増加しました。
 <原因>
 人権擁護委員による小学校での人権教室の実施や啓発活動等により、人権への意識が向上したことが理由と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
人権侵害に対する措置件数	件		1,449	

事務事業名 地域まちづくり事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1337

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民(小学校区)

事務事業の内容、やり方、手順

その地域の実情や特性に合わせて、行政区、自治会、各種地域団体、NPO、ボランティア団体、事業者及び市民による担い手が協力しながら地域自らが地域課題に取り組む「地域まちづくり協議会」の設立準備、運営、活動等に対し、人的支援及び財政的支援として、地域まちづくり支援員による運営サポート及び補助金を交付しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会・区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性が生かされ、コミュニティ活動がさらに活発化するとともに地域の課題が地域で解決されています。

【補助金交付団体】

蓮沼むらづくり協議会（蓮沼小学校区）
山武西まちづくり協議会（旧山武西小学校区）
緑海まちづくり協議会（緑海小学校区）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
協議会への理解度	%	27.27	27.27	36.36
成果状況				
協議会数	区	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	2,984	0	0	0	2,476	508	
05年度 実績	4,411	0	0	0	2,742	1,669	
06年度 当初	5,927	0	0	0	2,913	3,014	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
協議会への理解度及び協議会数は昨年度と同数であり、順調に活動しています。
<原因>
協議会の役員で構成する連絡協議会において情報交換を行い、お互いの事業に参加するなど、相互連携がとれていることが順調な事業活動の要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%		33.5	
市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数	人		1,666	

事務事業名 SDGs宣言制度導入事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	03	基本事業名	協働のまちづくり推進の仕組みづくり
計画年度	令和 03 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	2176

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に事業所等を有する事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

SDGs達成に取り組む市民や事業者が増加し、持続可能なまちづくりが進み、地域に住まう誇りが醸成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

○市民や市内事業者等が、自発的にSDGsに取り組むことを宣言し、その宣言内容を市ホームページ等で公表し、活動を支援する市独自のSDGs宣言制度を構築、運用しました。
認定件数：15件

○連携協定を締結する金融機関等の助力により、SDGs推進にかかるセミナーを開催し、職員の意識啓発と参画を促しました。
開催件数：1件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
セミナー等啓発活動件数		1	1	1
成果状況				
宣言者数		60	15	30
セミナー参加者数		21	26	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	6	0	0	0	0	6	
05年度 実績	2	0	0	0	0	2	
06年度 当初	25	0	0	0	0	25	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 宣言者数は個人・法人等を合わせ昨年度と比較して40件減少し、15件の認定を行いました。また、セミナーは庁内向けに実施し、参加者は26人となりました。

< 原因 >

宣言者数は、令和4年度に新規事業として注目が集まった結果、予想を超えた多くの応募があり、令和5年度は数値が減少したと考えられます。セミナーについては、SDGsの発信に努め、関心をもった方が多数いたことでセミナー参加者の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数	回		5	

事務事業名 広報さんむ作成・発行事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	広報の充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 90

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全世帯
市民

事務事業の内容、やり方、手順

市内の世帯に配布する広報紙を作製し発行します。
市民と協働で広報紙を作製、市内全戸配布します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民目線の広報紙を作製し、市内全戸配布することで、市政や行事等に関する情報が広く周知されています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
発行回数	回	12	12	12
成果状況				
印刷部数	部	288,800	288,800	288,800
広報紙を読んでいる市民の割合	%	92.2	86.8	91.2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	17,228	22	0	0	1,008	16,198	
05年度 実績	19,163	22	0	0	1,318	17,823	
06年度 当初	25,390	22	0	0	817	24,551	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
広報紙を読んでいる市民の割合は、前年度と比較して5.4ポイント減少しました。
<原因>
コロナ禍の収束や、ライフスタイルの変化等により市公式LINEなどSNSやホームページなどを利用して、必要な情報だけ入手する人が増えたことなどが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%		86.8	
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%		86.2	
ホームページ等のICTを活用した市からの情報提供に満足している市民割合	%		92.1	

事務事業名 ホームページ運営事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	01	基本事業名	広報の充実
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 91

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
山武市の情報を得ようとする人

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市政や行事等に関する情報が広く周知されています。
市の魅力が広く発信されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市民等に対し、電子媒体により条例や規則、市の施策、行事等に関することなどを掲載しています。担当課が告知内容を作成し、各課で掲載。秘書広報課では内容を定期的に確認しています。また、PRしたいイベントなどを画像を使って目立つように周知したり、ホームページのカテゴリ構成などをチェックしています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
更新件数（更新申請件数）	件	0	0	0
承認件数	件	1,193	1,045	1,100
成果状況				
市ホームページへのアクセス件数	件	316,750	384,016	400,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,097	0	0	0	360	737	
05年度 実績	1,097	0	0	0	0	1,097	
06年度 当初	1,097	0	0	0	240	857	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
ホームページのアクセス件数は、令和4年度より、67,266件増加しました。
<原因>
その理由としては、新型コロナウイルス感染症の5類変更に伴い再開したイベント等情報へのアクセスが増加したことが要因の一つと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%		86.8	
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%		86.2	
ホームページ等のICTを活用した市からの情報提供に満足している市民割合	%		92.1	

事務事業名 ふるさと納税推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信		
基本事業番号	03	基本事業名	市の魅力発信の強化		
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1099

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ふるさと納税により本市へ寄附された方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

寄附者への返礼品送付を通じて本市の知名度向上、来訪への契機とします。
加えて、地場産品取り扱いによる地域活性化と自主財源の確保に貢献します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・ふるさと納税制度の仕組み、概要などをホームページに掲載し、広く寄附を募集
- ・寄附をいただいた方には、礼状を送付
- ・前年度の寄附状況及び運用状況について、9月にホームページに掲載

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
ポータルサイト登録数	サイト	4	14	14
返礼品数	品	204	289	300
成果状況				
寄附受入件数	件	1,388	3,147	4,000
寄附金額	円	46,838,000	74,475,300	1億

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	22,332	0	0	0	123	22,209	
05年度 実績	36,134	0	0	0	36,134	0	
06年度 当初	75,000	0	0	0	75,000	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
前年度と比較して、寄附受入件数が1,759件（約126.7%）、寄附受入額が27,637,300円（約59.0%）増加しました。
<原因>
返礼品のメニューを増やしたことや、寄附受付の窓口となるポータルサイトを増やしたことにより、寄附者が寄附をしやすい環境がつけられたことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
SNS等による市からの情報発信件数	件		43,667	
市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	人		5,181	

事務事業名 さんむの魅力発信事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	03	基本事業名	市の魅力発信の強化
計画年度	令和 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 2118

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市外在住者

事務事業の内容、やり方、手順

様々な媒体を通じて市の魅力を発信します。

公式X
公式YouTube
公式LINE
安心安全メール
市HP
広報紙
横断幕（圏央道）
報道機関（TV、新聞等）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市の知名度や魅力などが向上することで山武市への関心を惹起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加が図られます。また、市民のシティプライドの醸成が図られます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
情報発信に利用した媒体数		7	8	8
成果状況				
Twitterフォロワー数		511	709	800
Youtubeチャンネル公開動画視聴回数		270,772	43,317	45,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,593	0	0	0	0	1,593	
05年度 実績	1,514	0	0	0	0	1,514	
06年度 当初	1,289	0	0	0	0	1,289	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
令和5年度のX(旧Twitter)フォロワー数は、前年度から198名増加、YouTubeチャンネルの公開動画視聴回数は、227,455回減少しました。

< 原因 >
その理由としては、X(旧Twitter)においては市出身著名人の活躍など積極的に取り上げたこと、YouTubeにおいては、新規動画の作成および投稿が減少（R4:20本 R5:6本）したことが要因の一つと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
SNS等による市からの情報発信件数	件		43,667	
市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	人		5,181	

事務事業名 議会改革推進事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	04	基本事業名	議会情報の公開の推進
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1964

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市議会議員
市民

事務事業の内容、やり方、手順

- ・議会改革先進事例の提供
議会改革の参考となる先進地の事例を、議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。
- ・議会運営効率化・公開に関する支援
議会運営に係る事務の効率化、経費削減及び審議内容公開等に関して議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

先進地の議会改革の内容を調査・研究することにより、議会改革の取り組みが進みます。
議会の情報を公開することにより、透明性を確保し、議会に対する市民の理解と信頼が高まります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
議会改革に係る調査・情報提供件数	件	1	1	1
成果状況				
議会改革として取組をすることになった件数	件	0	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
議会改革として取組をすることになった件数は、0件で令和4年度と同様です。
<原因>
議会運営委員会委員及び正副議長の7名参加のもと、令和5年10月に福岡県筑紫野市へ「議会改革について」をテーマにした行政視察研修を行い、議会基本条例制定までの流れ、課題及び議会報告会の企画・運営方法など先進事例を調査研究し、今後、議会改革を進めていくにあたり、情報収集に努めました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%		40.8	
市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）	件		2,535	

事務事業名 議員研修事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 670

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市議会議員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

情報収集、調査研究活動が充足しています。審議能力及び政策立案能力が向上され、議会での議論が活発化し、市政の課題解決に取り組むことができます。

事務事業の内容、やり方、手順

・各委員会（議会運営委員会、常任委員会）がそれぞれ所管する事務について行政調査・研修を行います。
また、議員の資質向上を目的とした研修会へ出席します。
令和5年度主な実績
市議員研修会（9月15日 演題：議員に求められるコンプライアンス）
常任委員会合同行政視察（11月7日、8日 茨城県常総市、栃木県那須郡那珂川町）
議会運営委員会行政視察（10月30日～11月1日 福岡県筑紫野市、熊本県菊池郡菊陽町）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
実施する研修の数	回	8	8	10
参加人数	人	79	82	88
成果状況				
議員一人当たりの研修会参加回数	回数	4	4.6	4.9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	16	0	0	0	0	16	
05年度 実績	1,426	0	0	0	0	1,426	
06年度 当初	3,586	0	0	0	0	3,586	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
議員一人当たりの研修参加回数は、令和4年度より0.6ポイント増加しており順調です。
<原因>
コロナ禍で議員活動が制限されていましたが、令和5年5月から新型コロナの分類が5類に引き下げられて以降、視察調査も活発に行われ始めたなか、積極的な取組がなされ、議員一人当たりの研修会参加回数の増加につながったと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値

事務事業名 行政評価制度推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	01	基本事業名	行政経営の推進
計画年度	平成 18 年度 ~	年度	事務事業整理番号 127

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・総合計画に定める体系（政策 - 施策 - 基本事業 - 事務事業）
- ・職員
- ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・総合計画の進行管理が行えるようになります。
- ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。
- ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPDCAのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施しました。

【令和5年度】

- 4月 まちづくりアンケートの実施
- 4月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（SPRINGレビュー）
- 7月～ 事務事業評価（サマレビュー）
- 9月～ 成果志向型予算編成の実施
- 12月 まちづくり報告書 事務事業評価報告書策定
- 2月 実施計画書の策定

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
説明会・研修会の実施回数	回	2	3	2
評価・点検を実施した事務事業数	事業	211	235	200
成果状況				
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合	%	53.9	54.4	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	11,197	0	0	0	0	11,197	
05年度 実績	5,447	0	0	0	0	5,447	
06年度 当初	5,408	0	0	0	0	5,408	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合は、令和4年度から0.5ポイント上昇しましたが、当初の目標値には10.1ポイント届きませんでした。

<原因>
職員アンケートの分析では、5級以下の職員、特に1級や2級の若年層の職員に意識の低い層が存在していると見受けられます。若年層向けの職員研修の実施がないため、意識改革が進んでいないものと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
基本事業の目標達成率	%		28.3	
PDCAサイクルを意識している職員の割合	%		54.4	

事務事業名 職員研修事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 17

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多様化、高度化する行政ニーズに対する確に対応する職員を育成します。

事務事業の内容、やり方、手順

- (1) 研修機関で実施する研修
山武都市広域行政組合
千葉県自治研修センター
市町村アカデミーなど
- (2) 内部研修
年間2回の内部研修
新規採用職員等研修など

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
実施する研修の数	回	53	65	50
成果状況				
職員一人当たりの研修受講回数	回数	0.8	1.3	1
多様化、高度化する行政ニーズに対する確に対応できる職員が育成されていると思う職員割合	%			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,337	0	0	0	27	1,310	
05年度 実績	1,205	0	0	0	3	1,202	
06年度 当初	2,761	0	0	0	12	2,749	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
職員一人あたりの研修受講回数は、令和4年度に比べ0.5ポイント増加しました。

< 原因 >
内部研修として、個人情報保護・安全管理措置研修やコンプライアンス研修を実施するにあたり、積極的な参加を呼びかけたことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%		65.7	
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%		75.7	
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%		76.1	

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営		
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	18

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員（一般職）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

職員が職務を通じて発揮した能力、あげた業績を的確に把握し、公正に評価することで、職員の人材育成、適材適所の任用、適切な給与処遇の実現を目指します。

主な取組み

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・目標設定及び評価調整会議及び期首期末面談等を行い人事評価の精度向上を図り、評価結果を処遇に反映させていきます。
- ・評価者と被評価者の面談を通じて課内のコミュニケーションを促進し、変化、改革を求められる時代のニーズにチーム対応していきます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
研修会開催回数	回	1	1	1
成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	84	85	82
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	51	52	66

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合は、令和4年度より1ポイント増加し、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合も1ポイント増加しました。
 < 原因 >
 人事評価制度の仕組みや制度の理解は、研修や目標設定度調整会議等の実施により維持している考えられます。適正運用については、公平な評価となるよう引き続き調整会議にて評価の適正化に努めます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%		65.7	
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%		75.7	
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%		76.1	

事務事業名 組織体制見直し事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	23

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員・市民

事務事業の内容、やり方、手順

- ・現状の課題点の洗い出しを行います。
- ・組織改編に向けて各部署のヒアリング実施します。
- ・大幅な組織の見直しを行う際は、組織モデル案を作成し、庁議及び議会へ報告します。
- ・関係する例規を整備します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市が直面する喫緊の課題に機動的に対応できます。
- ・市民に対して効率的な行政サービスが提供できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
組織体制見直しに係る打合せ回数	回	11	11	1
成果状況				
組織及び事務分掌の見直し回数	回	1	1	1
効果的効率的な組織編成（課や事務分掌）ができていると思う職員の割合	%	61	66.7	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
効果的効率的な組織編成ができていると思う職員の割合は、5.7ポイント向上しました。

< 原因 >
令和5年4月1日付けの組織改編は収税課の係の再編と環境保全課の係の事務分掌にとどまるものでした。これらの効果が定着したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%		65.7	
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%		75.7	
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%		76.1	

事務事業名 定員適正化推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1089

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を進めます。
 ・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の適正化を図ります。
 ・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。

スケジュール
 4月 退職勧奨制度の周知
 5月 職員採用計画
 6月 地方公共団体定員管理調査
 11月 人事に関する各部・各課ヒアリング
 3月 職員配置の決定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
各部・各課ヒアリング回数	日	6	7	7
成果状況				
定員適正化計画の定員数と職員数の差	人	4	5	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 令和 6 年度当初の定員適正化計画の目標定員456人に対し、実績は451人で、5人少ない状況となっています。
 < 原因 > 定員適正化計画の令和 5 年度以降の 10 年間は、定年延長の影響により定年退職者が一年置きとなることから、採用者を平準化させるために定員数が 1 年毎に増減するような計画となっています。令和 5 年度末については、定年延長を望まない職員が多かったことから、退職者分を補充する結果となり、組織変更の影響を考慮し職員数は増加しましたが、定員適正化計画の定員数と職員数の差は開きました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
年次休暇取得日数が 10 日以上の職員の割合	%		65.7	
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%		75.7	
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%		76.1	

事務事業名 ワークライフバランス推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1962

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

事務事業の内容、やり方、手順

- ・年次休暇、夏季休暇、男性の育児参加休暇等の取得推進。
- ・ノー残業デーの設定定着の推進。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

仕事と家庭生活の調和のとれた働きやすい職場環境を整備し全ての職員が持てる力を職務遂行に十分発揮し活躍できるようにします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
休暇・休業制度に関して行った通知等の回数	回	2	2	2
成果状況				
年次休暇の平均取得日数	日	11.7	13.2	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
年次休暇の平均取得日数は、令和4年度から1.5日増加しています。
<現任>
コロナウイルス感染症が5類に分類されたことから、コロナ以前の日常が戻り始め、旅行などのリフレッシュのための休暇取得が増加したことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
年次休暇取得日数が10日以上の職員の割合	%		65.7	
職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	%		75.7	
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%		76.1	

事務事業名 指定管理者指定事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 130

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されています。

事務事業の内容、やり方、手順

○公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理候補者の選定を行う予定でしたが、該当指定管理者の事業廃止により、選定委員会を開催しませんでした。

【令和5年度計画】

下記施設について、令和5年度をもって事業が廃止となりました。

・松尾駅前駐車場

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
選定委員会開催数	回	2	0	2
成果状況				
指定管理者制度導入施設数	施設	29	29	28

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	54	0	0	0	0	54	
05年度 実績	0	0	0	0	0	0	
06年度 当初	53	0	0	0	0	53	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 指定管理者制度を導入している施設数は昨年度と同数の29施設となりました。
 <原因>
 令和5年度は追加、廃止等の変化がありませんでした。しかしながら、令和5年度に更新予定だった松尾駅前自動車駐車場において施設自体が廃止となったため令和6年度以降施設数が減少します。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
経常収支比率	%		94.8	
実質公債費比率	%		6.1	
経常経費に占める一般財源の割合	%		75.6	

事務事業名 予算管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	155

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計、特別会計及び企業会計

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市会計の予算が適正に編成されるとともに、適正に執行されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市の当初予算及び補正予算等を編成し予算書を作成するとともに、財務会計システムにより予算の執行管理を行います。予算編成にあたっては、総合計画の重点分野及び公共施設等総合管理計画を基とした資源配分の選択と集中により、財政健全化と政策推進のバランスをとる総合計画成果志向型予算編成により適正な予算を編成します。

8月 投資的事業の要求内容確認（サマーレビュー）
 9月 予算仮要求（経常的経費、投資的事業）
 10月 予算要求説明会、予算本要求
 11月 資源配分会議等による予算の調整
 12月 市長査定
 2月 予算案を議会に提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
評価・点検をした事務事業数	事業	-	235	200
成果状況				
当初予算額（特定財源を含む）	百万円	23,700	22,820	25,820

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > R 6 当初予算額は、R 5 年度より30億円増加して過去最大額となり、また、財政調整基金の取崩しも15億円と3億3千万円増加し、非常に厳しい状況です。
 < 原因 > 給食センター等大型事業や老朽化施設の維持管理費用が増加しているところに、さらに物価高騰及び人件費の上昇が重なった影響です。類似の施設や事業の統廃合を早急にすすめるなど、歳出規模の適正化に取り組む必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
経常収支比率	%		94.8	
実質公債費比率	%		6.1	
経常経費に占める一般財源の割合	%		75.6	

事務事業名 基金管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 159

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

財政調整基金
その他の基金

事務事業の内容、やり方、手順

各種基金を計画的に有利な条件で運用し、利子の積み立てを行います。また急な支出への対応を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安定した財政運営のため、予算不足を調整する目的として基金が積み立てられています。
また、庁舎整備の財源として利用することを目的とした基金等が積み立てられています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
基金取崩し額（単年度）	百万円	855	1,308	2,372
基金積立額（単年度）	百万円	1,357	578	165
成果状況				
財政調整基金残高	百万円	5,835	5,216	4,236

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	656,739	0	0	0	119,133	537,606	
05年度 実績	197,701	0	0	0	108,639	89,062	
06年度 当初	164,768	0	0	0	144,182	20,586	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 財政調整基金の令和5年度末残高は、52億16百万円で、昨年度末に比べ、6億19百万円（10.6%）減少しました。また、長期財政推計の5年度末残高の約54億8千万円を下回り、厳しい財政状況です。
< 原因 > 施設の老朽化対応や物価高騰、人件費上昇などにより経費が嵩み、R5年度中の財政調整基金繰入額が10億2千万円と高額になったことが原因です。財源不足により基金全体の取崩し額が増加傾向にあるため、このままでは早期に基金が枯渇する恐れがあります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
経常収支比率	%		94.8	
実質公債費比率	%		6.1	
経常経費に占める一般財源の割合	%		75.6	

事務事業名 滞納整理事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	248

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

滞納者

事務事業の内容、やり方、手順

・未納の納税義務者に対して、納税催告の文書催告、電話催告、訪問を行い、滞納整理に早期着手し、滞納額の縮減を図ります。
 ・納付誓約不履行者や納税意思のない者などの悪質な滞納者に対して、滞納処分を執行します。
 ・処分可能な財産の有無を徹底的に調査し、無資力な者は、執行停止の処分を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・現年滞納者の解消を図ります。
 ・過年度滞納者の縮減を図ります。
 ・収納率の向上を図ります。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
納税催告送付件数	件数	6,381	5,731	8,000
滞納処分決議数	件数	200	242	220
成果状況				
市税収納率（現年度）	%	97.89	98.09	98.5
市税収納率（過年度）	%	20.64	18.65	21.56

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,834	0	0	0	0	1,834	
05年度 実績	2,822	0	0	0	0	2,822	
06年度 当初	2,805	0	0	0	2	2,803	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 収納率は、現年度は0.20%増加、過年度は1.99%低下しました。
 <原因>
 滞納者に対する催告、滞納処分を徹底し、特に現年度分を重点的に徴収しました。また、千葉県と連携して市県民税の滞納整理を強化しました。現年過年ともに横ばいを維持しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市税収納率	%		98.09	

事務事業名 市税等徴収事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税（市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税）の納税義務者
 収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア等

事務事業の内容、やり方、手順

・納税義務者に納付機会の拡大を推進します。（口座振替やコンビニエンスストア等での納付）
 ・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督促状を発送し納付を促します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会が拡大し、納税者の利便性が高まります。

当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンスストア納付等のご案内を同封しお知らせします。
 防災行政無線及び広報さんむ等で周知します。
 納税義務者が口座振替、コンビニ納付及びスマートフォンアプリ納付をした場合の手数料は無料です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
納期内納付啓発回数	回	12	12	12
口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ数	人	45,834	42,051	50,000
成果状況				
督促状発送件数	件	20,039	19,792	20,000
口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合	%	62.3	57.9	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	12,052	0	0	0	0	12,052	
05年度 実績	11,935	0	0	0	0	11,935	
06年度 当初	12,756	0	0	0	0	12,756	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 前年度と比較して、督促状発送件数は252件減少しました。また、口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合は4.4%低下しましたが、QRコードを利用した納付件数及び納付額は増加しています。
 < 原因 > 広報さんむ及び市ホームページ等で納付に関する広報を継続的に実施したことにより、期限内納付者が増加したと考えられます。また、QRコード利用払いが可能となったことにより、口座振替・コンビニエンスストア納付が減少したと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市税収納率	%		98.09	

事務事業名 本庁舎整備事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 令和 07 年度		事務事業整理番号 1471

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎施設、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

本庁舎に機能が集約され、円滑かつ効率的な行政事務が行われると共に、施設利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

施設利用者の利便性向上のため、本庁舎施設の環境整備を行います。また、本庁舎施設の老朽箇所や不良箇所の整備を計画的に行うことで、本庁舎施設の省エネ化や長寿命化を図ります。

平成27年度 本館空調設備改修工事
本庁舎駐車場等整備工事（新設）

平成28年度 本庁舎駐車場等整備工事（既存）等
電話設備機器改修工事

令和元年度 喫煙所設置工事（繰越明許）

令和3年度 本庁舎受変電設備等改修工事

令和5～6年度 本庁舎浄化槽改修工事

令和6年度 本庁舎他照明設備改修・電話交換機改修工事

令和7年度 本庁舎他屋上防水及び外壁改修工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
打ち合わせ回数	回	4	1	30
成果状況				
整備した面積	m ²	0	0	9,793.7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,584	0	0	1,500	0	84	
05年度 実績	72,081	0	0	68,000	3,654	427	
06年度 当初	78,065	0	0	74,100	3,965	0	(124,541)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 本庁舎及び成東保健福祉センターの浄化槽改修工事の完了予定時期が令和5年度から令和6年度へ1年先送りとなり一部遅延が生じましたが、令和5年度中に工事請負契約の本契約を締結することができたため、事業全体に対する大きな影響はありません。

< 原因 > 建設資材の高騰などの理由により、浄化槽改修工事の1回目の入札が不調となり、2回目の入札で請負事業者が決定するまでの期間、事業に一部遅延が生じましたが、既設の浄化槽に大きな不具合は発生していないため、施設利用者に大きな影響はありません。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%		51.9	
公共施設維持管理費	万円		175,614	

事務事業名 庁用車適正配置事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1578

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員 庁用車

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

庁用車が各部に適正に配置されています。 庁用車の環境負荷が低減しています。
--

事務事業の内容、やり方、手順

保有する庁用車を最大限有効活用するために必要な調査を行い、利用状況に応じた配車を行います。 また、新規登録から13年を経過している庁用車については、適宜、環境負荷の少ない車両へ買い替えを行います。 ・庁用車の利用状況調査等 ・環境負荷の少ない車両への買い替え
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
新車購入台数	台	1	0	1
廃車台数	台	4	1	1
成果状況				
公用車1台に対する職員数	人	4.53	4.57	4.57
共用車の稼働率	%	61.8	62.6	62.6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,754	0	0	0	0	3,754	
05年度 実績	1,636	0	0	0	0	1,636	
06年度 当初	3,974	0	0	0	0	3,974	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 公用車 1 台に対する職員数は、4.57人/台で前年度と比較して0.04人/台の微増、共用車の稼働率は、62.6%で前年度と比較して0.8ポイントの微増となりましたが、全体的な傾向は、ほぼ横ばいです。 < 原因 > 公用車の保有台数（市職員が日常的に使用する車両で専用又は特殊な用途に使用する車両は除く）は、前年度と比較して1台減少しており、少しずつ公用車の適正配置は進んでいますが、対象となる職員数及び車両台数が多いため数値は横ばいとなっています。</p>
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%		51.9	
公共施設維持管理費	万円		175,614	

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1731

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が保有する公共施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
- ・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
- ・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画、管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。

【事業内容】
平成28年度～平成30年度 保全情報システム更新・運用
平成30年度～令和2年度 公共施設個別施設計画策定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
維持管理費削減に係る取組数	件	87	87	87
成果状況				
公共施設維持管理費	千円	1,792,984	1,756,136	1,756,136

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	
05年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	
06年度 当初	1,166	0	0	0	0	1,166	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
公共施設維持管理費は、1,756,136千円で、前年度と比較して36,848千円減少しており順調です。
<原因>
国が実施した激変緩和措置により電気使用料が縮減したことに加え、小中学校への校務支援用パソコンや電子黒板の導入などの事業が完了したことによるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%		51.9	
公共施設維持管理費	万円		175,614	

事務事業名 さんぶの森交流センターあららぎ館施設管理事業

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1198

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・さんぶの森交流センターあららぎ館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市民や市民活動団体の活動する場が確保されることにより、自主的な活動が活発になります。
- ・適切な施設の維持管理が行われることにより、利用者が安全かつ快適に施設を利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- （施設の概要）
- ・多目的室：1（やまゆり）2（のぎく）3（ひまわり）4（ききょう）5（あかぐも）6（りんかん） 合計6室
 - ・調理実演室
 - ・ジャイアントシェルター棟
 - ・駐車場
 - ・開館時間：午前9時から午後5時まで
 - ・休館日：毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館日
 - ・施設利用における受付対応については直営で実施しており、保守点検や清掃等の維持管理は業務委託において対応しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
交流センター利用回数	回	617	573	500
成果状況				
交流センター利用者数	人	9,014	11,669	9,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	10,163	0	0	0	286	9,877	
05年度 実績	9,032	0	0	0	366	8,666	
06年度 当初	10,738	0	0	0	241	10,497	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

- < 状況 >
あららぎ館交流センターにおける利用回数は昨年度と比較し、44回減少したものの、利用者数は2,655人増加しました。
- < 原因 >
利用回数の減少については、市民活動団体や自治会等の利用が減少したことが原因と考えられます。また、利用者数の増加については、11月に産業まつりの会場として使用されたことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%		51.9	
公共施設維持管理費	万円		175,614	

事務事業名 蓮沼出張所管理運営事業

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 180

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

施設利用者、蓮沼出張所

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設の適切な維持管理が行われ、安心して利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼出張所の維持管理業務を行います。
 消防設備保守点検委託
 清掃委託（日常清掃・床及び窓ガラス清掃）
 自動車保守点検委託
 貯水槽清掃委託
 警備委託
 浄化槽管理委託
 空調機器清掃委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
庁舎施設の修繕件数	数	4	3	2
成果状況				
庁舎施設の不具合件数	数	4	3	2
トラブル件数	数	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	3,992	0	0	0	47	3,945	
05年度 実績	3,630	0	0	0	61	3,569	
06年度 当初	5,238	0	0	0	31	5,207	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 トイレ掃除用流し水栓、非常用発電機バッテリー、ブロワーの不具合が生じ、計3件修繕を行いました。
 < 原因 >
 昭和62年竣工の施設のため、経年劣化により修繕が発生しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%		51.9	
公共施設維持管理費	万円		175,614	

事務事業名 電子自治体構築事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	06	基本事業名	自治体DXの推進と市民サービスの向上
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1157

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

基幹系システム
市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

基幹系システムが安定稼働しています。
市民がコンビニ等で税金等を納められます。

事務事業の内容、やり方、手順

基幹系業務（住民基本台帳、税、国保等）のシステム運用及び機器の保守を行いました。

令和4年1月 団体内番号連携サーバ更新
令和4年2月 基・税システムの更新（自治体クラウドへ移行）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
職員・業者との会議回数	回	30	30	30
システム、機器保守点検件数	件	266	328	250
成果状況				
コンビニ等で納付できる種類（税、料の公金の項目数）	種類	6	6	6
障害発生件数	件	2	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	13,766	0	0	0	0	13,766	
05年度 実績	13,711	0	0	0	1,784	11,927	
06年度 当初	41,359	3,876	0	0	0	37,483	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
基幹系システムにおいて、業務が長時間停止するような障害は発生しませんでした。
<原因>
クラウド化や日々の点検により、安定稼働できたと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民の割合	%		46.5	
ICTを活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数（計画期間累計）	件		11	

事務事業名 例規・法制支援事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1476

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員、市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

例規の制定改廃にかかる職員の事務の合理化、省力化を図ります。
また、条例・規則等の制定、改正等を適正に行い、事務の公正の確保と透明性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

例規立案、例規集の作成及び既存例規データ更新等に関する業務を委託により実施します。
（業務内容）
・制定改廃した例規を既存の例規集に溶け込ませ、データベースを更新する。（年4回）
・法令・判例情報の提供（随時）
・法制執務に係る相談（随時）
・例規起案ソフトによる例規立案支援（随時）
市が行う各種行政手続について、標準処理期間や申請書、必要添付書類等の整理を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
例規データベース更新回数	回	4	4	4
例規制定改廃件数	件	214	198	150
成果状況				
例規データ更新スケジュール順守率	%	100	100	100
例規改正漏れ件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	4,325	0	0	0	0	4,325	
05年度 実績	4,317	0	0	0	0	4,317	
06年度 当初	4,423	0	0	0	0	4,423	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
例規データ更新スケジュール順守率は、100%でした。
<原因>
最新法令の情報収集や例規改正手続など、例規支援システムの活用によって効率的に事務が進められているものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値

事務事業名 出納係事務費

会計課 会計課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	01	基本事業名	適正な会計処理		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	666	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・債権者 ・会計業務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

債権者に対する公金の支払いが確実に Rowe れます。

事務事業の内容、やり方、手順

支出負担行為の確認及び支出命令の審査を行い、適正な会計処理を行います。口座振替払では、「パソコンバンクサービス（振込データ等の伝送）」を利用し、また、10月からはISNネットの終了に伴いLGWAN振込データ転送サービスを利用し支払いの手続きを行います。
【振込処理不能が発生した場合の処理】
 （指定金融機関）振込組戻通知書（会計課）連絡（所管部署）
 同日13時までには正当な債権者情報が確認できたものは、指定金融機関に対し再振込の依頼を行います。
 確認ができないものは、戻入の手続きを行い、再振込の手続きを行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
口座振替期日における指定金融機関からの振込不能返却報告書に基づく債権者への振込不能件数	件	172	166	165
口座振込不能により資金返却された件数のうち、同日に再振込の措置を講じ、正当債権者に支払が行われた件数	件	123	128	135
成果状況				
口座振込支払期日における振込不能件数に対する資金返却同日に再度振込し債権者に支払うことができた件数の割合	%	72	77	82
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	11,077	0	1,092	0	145	9,840	
05年度 実績	10,649	0	1,028	0	57	9,564	
06年度 当初	13,028	0	900	0	55	12,073	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<p>< 状況 > 再度振込をし、支払うことができた件数の割合は、令和4年度より5ポイント向上しました。 < 原因 > その理由としては、振込不能返却報告書が随時ファックスで連絡されており、所管部署が正当な債権者情報を確認する時間が多くとれるようになっていきました。また、口座情報を登録後、内容を複数の職員で確認し、指定金融機関へ依頼しています。以上のことから、振込不能件数は減少し、口座振込支払期日における振込不能件数に対する資金返却同日に債権者に支払うことができた割合は向上したと考えます。</p>
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
例月現金出納検査の指摘事項件数	件		37	

事務事業名 監査委員活動費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	684

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計 特別会計 企業会計 市役所全部署

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市監査計画に基づき、各監査等を実施します。 1 例月現金出納検査...現金の残高や出納事務が適正に行われているかどうかを主眼として実施 2 決算審査、基金運用状況審査...決算の計数の正確性や事業の経営が適正に行われているかどうかを主眼として実施 3 健全化判断比率等審査...健全化判断比率及び資金不足比率並びに書類の係数が適正かどうかを主眼として実施 4 定期監査...財務の執行や事業の管理が適正に行われているかどうかを主眼として実施 5 工事監査...技術面の調査を技術士に委託して実施
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
監査等を実施した件数	件	6	5	5
成果状況				
指摘事項等の件数	件	66	71	71
計画に対する監査等実施率	%	120	83.3	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
05年度 実績	1,071	0	0	0	0	1,071	
06年度 当初	1,107	0	0	0	0	1,107	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 指摘事項等の件数は、前年度と比較して5件増加しています。また、計画に対する監査等実施率は、83.3%となりました。 <原因> 監査計画に基づき入念に準備し、監査等を実施しました。指摘事項等の件数は増加しましたが、監査等により是正すべき点を明確にすることで事務が適正に行われるようになります。なお、指摘事項等は全て措置が講じられています。
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
監査による指摘事項等の措置率	%		100	

事務事業名 戸籍事務費

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	215	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

戸籍の届出者及び証明書申請者

事務事業の内容、やり方、手順

出生・死亡・婚姻・離婚等の届出書の受付・審査、戸籍の証明書発行、犯歴・刑罰・身上照会に関する事務を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

来庁目的を的確に把握し、交付証明書及び届出書の行き違いをなくします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
それぞれの届出書件数および証明書交付件数ならびに照会件数	件	22,480	22,510	20,000
成果状況				
届出書、交付証明書の不具合件数の割合	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	383	0	47	0	336	0	
05年度 実績	318	0	48	0	270	0	
06年度 当初	407	0	46	0	361	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
届出書受付及び交付証明書の交付は順調です。
 <原因>
聞き取り等により来庁目的を明確に把握し行き違いが生じないように努めました。係員は研修会に参加し、自己研鑽に努め、窓口業務のサービス向上を図りました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件		0	

事務事業名 窓口サービス向上事業

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	平成 28 年度 ~ 年度	事務事業整理番号	1959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

窓口サービス利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

窓口での手続きの円滑化と時間短縮が図られ、窓口サービスの満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

正確でわかりやすい手続き等を提供するために、申請書記入から発券機までの導線を見直し窓口での混乱を解消し、ホームページの掲載内容が検索しやすくなるように改善しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
窓口サービス向上に係る取組の検討件数	件	1	2	1
成果状況				
窓口サービス向上に係る取組の導入件数	件	1	2	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績							
05年度 実績							
06年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 窓口サービス向上に係る取組の導入件数は、2件です。
 < 原因 >
 申請書を記載したあとに番号札を発券するという流れがスムーズになるよう、記載台の表示や窓口カウンターに案内看板を設置しました。また、ホームページで手続ごとにページを体系化し、必要な情報を検索しやすくしました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件		0	

事務事業名 山武出張所事務費

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 218

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出 44件 諸証明交付 1,682件
 ・住民基本台帳に関する届出 452件 諸証明交付 3,552件
 ・マイナンバーカード発行申請等 412件
 ・印鑑登録 323件 印鑑証明交付 2,798件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,147件
 ・各種税関係申請等の收受 640件 諸証明交付 1,146件
 ・市税等の収納 6,353件 ごみ袋販売 155件
 ・障害者福祉等に関する届出 960件
 ・児童手当等に関する届出 211件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 241件
 ・交通災害共済の申請 96件 緑の羽根募金の受付 60件
 ・その他の申請及び届出 162件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
 ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
窓口サービス取扱件数	件	22,798	20,434	19,000
成果状況				
出張所利用者数	人	18,728	16,165	15,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	405	0	0	0	405	0	
05年度 実績	376	0	0	0	376	0	
06年度 当初	436	0	0	0	436	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 >
 令和5年度の窓口業務取扱件数は、前年度と比較して2,364件（10.3%）、出張所利用者数は2,563人（13.7%）減少となりました。
 < 原因 >
 窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数の減少については、人口減少やマイナンバーカードを利用したコンビニ交付の普及、手続の簡素化によって証明書等の交付件数が減少したことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件		0	

事務事業名 蓮沼出張所事務費

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 217

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出152件 ・諸証明交付633件
 ・住民基本台帳に関する届出1007件 ・諸証明交付582件
 ・マイナンバーカード発行申請等57件
 ・印鑑登録51件 ・印鑑証明交付760件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出1608件
 ・各種税関係申請等の收受533件 ・諸証明交付289件
 ・市税等の収納2207件 ・ごみ袋販売81件
 ・障害者福祉等に関する届出235件
 ・児童手当等に関する届出58件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出126件
 ・交通災害共済の加入申込57件 ・緑の羽根募金の受付21件
 ・その他申請及び届出165件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・証明書の交付等の窓口サービスを出張所で受けられます。
 ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
窓口サービス取扱件数	件	8,667	8,622	7,739
成果状況				
出張所利用者数	人	7,071	7,130	6,710

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	131	0	0	0	131	0	
05年度 実績	105	0	0	0	105	0	
06年度 当初	182	0	0	0	182	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数ともにほぼ横ばいですが、マイナンバーカード関連や福祉関連業務の一人当たりの所要時間は引き続き増加傾向にあります。特に、特例転入の処理に時間を要しています。
 <原因>
 コンビニで納税やマイナンバーカードを利用して証明書を取得する方がいる一方で、一定数の方は今までと同様に出張所を利用している事等から、大きな増減はなかったと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件		0	

事務事業名 松尾出張所事務費

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	05	基本事業名	適正な戸籍・住民基本台帳事務管理
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出及び諸証明交付 1,705件
 ・住民基本台帳に関する届出及び諸証明交付 1,925件
 ・マイナンバーカード発行申請等 207件
 ・印鑑登録及び印鑑証明交付 1,478件
 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 924件
 ・各種税関係申請等の收受及び諸証明交付 1,242件
 ・市税等の収納 4,000件・ごみ袋販売 101件
 ・障害者福祉等に関わる届出 1,107件
 ・児童手当等に関する届出 189件
 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 425件
 ・交通災害共済の申請 141件・緑の羽根募金の受付 45件
 ・その他の申請及び届出 156件

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
 ・税金等の収納機関として利用できます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
窓口サービス取扱件数	件	14,684	13,645	12,600
成果状況				
出張所利用者数	人	11,714	10,790	9,800
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	317	0	0	0	317	0	
05年度 実績	388	0	0	0	388	0	
06年度 当初	767	0	0	0	767	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
 松尾出張所の窓口サービス取扱件数は前年度と比較して1,039件、利用者数は924人減少しています。今年度に限らず、ここ数年窓口サービス取扱件数は減少しています。
 <原因>
 その理由としては、慢性的な人口減少と市民サービス向上のための提出書類の減少、マイナンバーの活用による窓口での届出等の減少が考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	件		0	

事務事業名 個人住民税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 233

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有する個人
市内に事務所、事業所又は家屋敷を有する個人で市内に住所を有しない者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

個人住民税が法令に基づき適正で公平な課税が行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

当該年分の所得に係る所得税確定申告、住民税申告並びに給与・年金支払報告書等の所得等データにより個人住民税を課税しました。
税制改正点について市民へ周知の徹底を図りました。
給与特別徴収納期限 毎月10日
普通徴収第1期納期限 6月末・第2期納期限 8月末
第3期納期限 10月末・第4期納期限 翌年1月末
年金特別徴収については、4月、6月、8月、10月、12月、2月の年金支給時。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
納税義務者数	人	24,967	24,852	24,447
申告書処理件数	件	13,350	12,196	12,773
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
電子申告の割合	%	31.5	33.91	32.71

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	10,387	0	10,387	0	0	0	
05年度 実績	9,873	0	9,873	0	0	0	
06年度 当初	11,163	0	11,163	0	0	0	(1,595)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
電子申告の割合が前年度に比べ2.41ポイント向上しました。
<原因>
電子申告手続のための環境整備が進んだことによります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件		0	

事務事業名 固定資産税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	昭和 23 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 236

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に固定資産（土地・家屋・償却資産）を有する納税義務者
（地方税法第343条に基づく）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

固定資産税が法令に基づき適正で公平な課税が行われています。

事務事業の内容、やり方、手順

土地の現況調査、法務局からの税務通知による異動処理（土地・家屋）、償却資産の申告事務により課税データの整備、賦課を実施します。
土地 233,501筆
家屋 42,666棟
償却資産 1,391人

第1期納期限 5月末日
第2期納期限 7月末日
第3期納期限 9月末日
第4期納期限 12月末日

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	04年度	05年度	06年度
土地異動処理件数	件	8,885	9,119	8,000
現況調査家屋数	棟	409	386	400
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
新增築家屋の評価棟数	棟	186	195	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
04年度 実績	4,962	0	0	0	0	4,962	
05年度 実績	5,250	0	0	0	0	5,250	
06年度 当初	5,777	0	0	0	0	5,777	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

05年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
審査の申出による更正件数は0件であり順調です。家屋の新規登録件数は195件で、昨年度から9件増加しています。
<原因>
課税台帳に登録された固定資産による課税が適正に行われたため、不服申立等が発生しなかったと思われます。また、評価棟数は未評価家屋に対する現年度課税を実施したため、微増となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	04年度	05年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件		0	

